

注3

大学番号：私216

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部を設置

注1

認可

大阪経済法科大学 国際学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪経済法律学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局庶務課

職名・氏名 カチョウ ハルヤマカツヤ
課長 春山勝哉

電話番号 072-941-8211

（夜間） 072-941-1503

F A X 072-941-4426

e-mail syomu@keiho-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	77
7. その他全般的事項	83

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 大阪経済法律学園

(2) 大 学 名

大阪経済法科大学

(3) 調査対象大学等の位置

花岡キャンパス

〒581-8511

大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地

八尾駅前キャンパス

〒581-8522

大阪府八尾市北本町2丁目10番45号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カナザワ シュンコウ) 金澤 俊孝 (平成7年3月25日)		
学 長	(フジモト ワキオ) 藤本 和貴夫 (平成17年4月1日)	(タバタ リイチ) 田畑 理一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う新学長選任(29)
学 部 長	(タバタ リイチ) 田畑 理一 (平成28年4月1日)	(ナカイ ヒデオ) (クレハラ ユキタカ) 中井 英雄 呉原 志賢 (平成29年4月1日) (平成31年4月1日)	学長就任に伴う新学部長選任(29) 学部長任期満了に伴う新学部長選任(元)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 国際学科 学士(国際学)	文学関係 経済学関係	4年	140人	— 年次人	560人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 140 (-) [20]	人	人 140 (-) [20]	人	人 140 (-) [20]	人	人 140 (-) [20]	人					
志願者数	1,457 (-) [70]	— (-) [-]	1,666 (-) [100]	— (-) [-]	2,533 (9) [91]	— (-) [-]	4,726 (21) [89]	— (-) [-]					
受験者数	1,044 (-) [70]	— (-) [-]	1,413 (-) [100]	— (-) [-]	2,272 (9) [91]	— (-) [-]	4,375 (21) [89]	— (-) [-]					
合格者数	635 (-) [70]	— (-) [-]	631 (-) [69]	— (-) [-]	717 (8) [58]	— (-) [-]	959 (18) [33]	— (-) [-]					
B 入学者数	146 (-) [62]	— (-) [-]	162 (-) [61]	— (-) [-]	158 (8) [54]	— (-) [-]	164 (17) [29]	— (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	1.04		1.15		1.12		1.17		1.12倍		—		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を超えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を超えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	141 [58] (-)	- [-] (-)	157 [58] (-)	- [-] (-)	151 [54] (-)	- [-] (-)	164 [29] (-)	- [-] (-)	平成30年度3年次133名 (留学生56名)には、編入 学生8名(留学生8名)を含 む。 令和元年度3年次165名 (留学生70名)には、編入 学生17名(留学生15名) を含む。
2 年次			135 [55] (-)	- [-] (-)	148 [55] (-)	- [-] (-)	151 [54] (-)	- [-] (-)	
3 年次					133 [56] (-)	- [-] (-)	165 [70] (-)	- [-] (-)	
4 年次							133 [56] (-)	- [-] (-)	
計							613 [209] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留學生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留學生数	
平成28年度	146 人	5 人	平成28年度	5 人	4 人	他の教育機関への入学・転学(1人) [就職(1人)、除籍(3人)]
平成29年度	303 人	11 人	平成28年度	6 人	3 人	就学意欲の低下(1人)、除籍(2人) [除籍(2人)、その他(1人)]
			平成29年度	5 人	3 人	家庭の事情(1人)、除籍(1人) [他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、除籍(1人)]
平成30年度	458 人	26 人	平成28年度	10 人	7 人	就学意欲の低下(2人)、家庭の事情(1人) [除籍(6人)、その他(1人)]
			平成29年度	9 人	3 人	就学意欲の低下(1人)、海外留学(1人)、除籍(4人) [除籍(3人)]
			平成30年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(3人)、 学生個人の心身に関する事情(2人)、家庭の事情(1人)
令和元年度	613 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		42 人		42 人	20 人	

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{146} = 3.42\%$$

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{303} = 3.63\%$$
$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{26}{458} = 5.67\%$$
$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{613} = \boxed{0} \%$$

4

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
共通 教育 科目	文章表現入門	1前	2							7
	基礎体育A	1前	1							3
	基礎体育B	1後	1							3
	哲学	1・2・3・4後	2							1
	日本史	1・2・3・4後	2							1
	日本近現代史	1・2・3・4後	2							1
	西洋史	1・2・3・4後	2							1
	考古学	1・2・3・4前	2							1
	文化人類学	1・2・3・4後	2							1
	文学	1・2・3・4前	2							2
	言語学	1・2・3・4前	2							1
	教育学	1・2・3・4後	2							1
	心理学	1・2・3・4後	2							2
	日本国憲法	1・2・3・4前	2							1
	法学	1・2・3・4後	2							1
	政治学	1・2・3・4後	2							1
	経済学	1・2・3・4後	2							1
	地理学	1・2・3・4後	2							1
	社会学	1・2・3・4後	2							1
	日本事情入門	1・2・3・4前	2							1
	現代日本事情	1・2・3・4後	2							1
	化学と生活	1・2・3・4後	2							1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	情報システム論	1・2・3・4前	2							1
	ソフトウェア論	1・2・3・4後	2							1
	ネットワーク論	1・2・3・4後	2		1					1
	ワープロ実践	1・2・3・4前	2							1
	表計算実践	1・2・3・4後	2		1					1
	データベース実践	1・2・3・4後	2							1
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後	2							1
	表計算応用	2・3・4後	2		1					1
	プログラミング実践	2・3・4前	2		1					1
	情報科学演習	2・3・4前	2							1
	環境論	1・2・3・4前	2							2
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前	2							1
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後	2							1
	平和学	1・2・3・4前	2							3
	マスコミ論	1・2・3・4後	2							1
	地域文化論	1・2・3・4前	2							1
	芸術学	1・2・3・4後	2							1
	河内学	1・2・3・4前	2							6
	現代社会学	1・2・3・4前	2							1
	現代社会と人権	1・2・3・4後	2							1
	現代社会と教育	1・2・3・4前	2							1
	現代社会と健康	1・2・3・4休	2							1
	現代社会と日本語	1・2・3・4後	2							1
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前	2							2
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2							4
	現代社会とメディア	1・2・3・4後	2							1
	人権の諸問題	2・3・4前	2							1
	海運と港湾	2・3・4後	2							1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
共通 教育 科目	文章表現入門	1前	2							8
	基礎体育A	1前	1							2
	基礎体育B	1後	1							2
	哲学	1・2・3・4後	2							1
	日本史	1・2・3・4後	2							2
	日本近現代史	1・2・3・4後	2							1
	西洋史	1・2・3・4後	2							1
	考古学	1・2・3・4前	2							1
	文化人類学	1・2・3・4後	2							1
	文学	1・2・3・4前	2							2
	言語学	1・2・3・4前	2							1
	教育学	1・2・3・4後	2							1
	心理学	1・2・3・4後	2							2
	日本国憲法	1・2・3・4前	2							1
	法学	1・2・3・4後	2							1
	政治学	1・2・3・4後	2							1
	経済学	1・2・3・4後	2							1
	地理学	1・2・3・4後	2							1
	社会学	1・2・3・4後	2							1
	日本事情入門	1・2・3・4前	2							2
	現代日本事情	1・2・3・4後	2							2
	科学技術史	1・2・3・4後	2							1
	化学と生活	1・2・3・4後	2							1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	情報システム論	1・2・3・4後	2							1
	ソフトウェア論	1・2・3・4前	2							1
	ネットワーク論	1・2・3・4後	2							1
	ワープロ実践	1・2・3・4前	2							2
	表計算実践	1・2・3・4後	2		1					1
	データベース実践	1・2・3・4後	2							1
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後	2							3
	ワープロ応用	2・3・4前	2							1
	表計算応用	2・3・4後	2		1					1
	プログラミング実践	2・3・4前	2		1					1
	情報科学演習	2・3・4前	2							1
	環境論	1・2・3・4前	2							1
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前	2							2
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後	2							2
	平和学	1・2・3・4前	2							3
	マスコミ論	1・2・3・4前	2							1
	地域文化論	1・2・3・4前	2							2
	芸術学	1・2・3・4後	2							1
	河内学	1・2・3・4前	2							6
	現代社会学	1・2・3・4前	2							1
	現代社会と人権	1・2・3・4後	2							1
	現代社会と教育	1・2・3・4前	2							1
	現代社会と健康	1・2・3・4休	2							2
	現代社会と日本語	1・2・3・4後	2							1
	現代社会と科学	1・2・3・4前	2							1
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前	2							2
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2							3
	現代社会とメディア	1・2・3・4後	2							1
	人権の諸問題	2・3・4前	2							1
	海運と港湾	2・3・4後	2							1

[illegible]

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 准	講 授	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	日本の水産業と世界の水産業	2・3・4前		2						1
	日本の農業	2・3・4前		2						1
	世界の農業	2・3・4後		2						1
	地球と環境	2・3・4後		2						1
	環境と経営	2・3・4前		2						1
	環境と社会	2・3・4前		2						2
	環境と海洋	2・3・4後		2						1
	環境と生態	2・3・4後		2						1
	環境保全論	2・3・4休		2						1
	環境演習A	2・3・4前		2						1
	環境演習B	2・3・4後		2						1
	ビジネスリテラシー	2・3・4後		2						1
	総合演習a	2・3・4前		2						5
	総合演習b	2・3・4後		2						5
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前		2						1
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		2						1
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前		2						1
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後		2						1
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4前		2						2
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4後		2						2
	ロシア語Ⅰ	1・2・3・4前		2						1
	ロシア語Ⅱ	1・2・3・4後		2						1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		2						4
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前		2						2
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前後		2						3
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前後		2						5
	日本語Ⅴ	1・2・3・4後		2						6
	日本語Ⅵ	1・2・3・4後		2						4
	中国語総合演習A	1・2・3・4前		2						1
	中国語総合演習B	1・2・3・4後		2						1
	ロシア語総合演習A	1・2・3・4前		2						1
	ロシア語総合演習B	1・2・3・4後		2						1
	日本語総合演習A	1・2・3・4前		2						7
	日本語総合演習B	1・2・3・4後		2						7
	中国語会話	1・2・3・4前		1						1
	韓国語会話	1・2・3・4後		1						1
	日本語読解	1・2・3・4前		1						1
	日本語会話	1・2・3・4前		1						1
	日本語表現	1・2・3・4後		1						1
	中国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4						1
	韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4						1
	健康科学論	1・2・3・4前		2						1
	心とからだの病理学	1・2・3・4後		2						1
	身体運動科学	1・2・3・4後		2						1
	スポーツ論	1・2・3・4前		2						1
	生涯スポーツA	1・2・3・4前		1						3
生涯スポーツB	1・2・3・4後		1						3	
フィットネス実習A	1・2・3・4前		1						1	
フィットネス実習B	1・2・3・4後		1						1	
トレーニング演習A	1・2・3・4前		2						2	
トレーニング演習B	1・2・3・4後		2						2	
身体管理論	2・3・4後		2						1	
スポーツ指導論	2・3・4前		2						1	
スポーツ管理論	2・3・4後		2						1	
小計(109科目)		-	0	211	0	1	0	0	0	68
	異文化理解	1前		2		1	2			1
	日本史概論Ⅰ	1前		2						1
	日本史概論Ⅱ	1後		2						1
	世界史概論Ⅰ	1前		2			1			1
	世界史概論Ⅱ	1後		2			1			1
	国際政治学Ⅰ	1後		2						1

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手		
専 門 基 礎 科 目	国際社会と法	1後		2			1				
	市民社会と法	1前		2						1	
	日本と国際法	1後		2				1			
	Intensive English W/R I	1前		2		1				14	
	Intensive English W/R II	1後		2		1				14	
	Intensive English L/S I	1前		2			2			7	
	Intensive English L/S II	1後		2			2			7	
	Exam Prep. I	1前		2			1			3	
	Exam Prep. II	1後		2			1			3	
	情報リテラシーⅠ	1前		2		2				1	
	情報リテラシーⅡ	1後		2		2				1	
	メディアリテラシー	1後		2						1	
	コミュニケーション論	1後		2		1					
	ミクロ経済学Ⅰ	1前		2		1					
	マクロ経済学Ⅰ	1後		2		1					
経営学概論	1前		2						1		
国際ビジネス概論	1後		2		1						
小計(23科目)		—	8	38	0	6	5	0	1	0	30
国 際 理 解 科 目 群	日本文化論	2前		2							1
	比較文化論	2後		2			1				2
	多文化共生社会論	3・4前		2			2				1
	Japanese Culture	2後		2			1				
	Japanese History	2休		2							1
	Japanese Society	2後		2							1
	Japanese Geography	2後		2							1
	Japanese Law and Society	3・4前		2		1					
	Comparative Culture	3・4後		2							1
	Comparative Legal System	3・4後		2		1					
	ジェンダー論	2前		2							1
	宗教学	2後		2							1
	社会思想史	2前		2							1
	アジア史	2前		2			1				
	アメリカ史	2前		2							1
	アメリカ外交史	3後		2							1
	ヨーロッパ史	2前		2							1
	現代中国事情	3・4前		2							1
	現代東南アジア事情	3・4前		2			1				
	現代オセアニア事情	3・4前		2							1
	現代アメリカ事情	3・4後		2							1
	現代ヨーロッパ事情	3・4後		2							1
	現代中東事情	3・4後		2							1
	Regional Studies(Asia)	3・4林		2							1
	Regional Studies(Oceania)	3・4前		2							1
	Regional Studies(America)	3・4後		2							1
	Regional Studies(Europe)	3・4後		2							1
国際政治学Ⅱ	2前		2							1	
国際関係論	2休		2							1	
安全保障と国際法	2前		2					1			
国際紛争の平和的解決と国際法	2後		2					1			
核問題と安全保障	3・4前		2							1	
International Relations and Law (Introduction to International Law)	2後		2						1		
国際協力法	3・4前		2			1					
国際人権法	3・4後		2			1					

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門 教育科目	国際社会と人の移動	2後		2					1			
	政治地理学	3・4後		2							1	
	NPO・NGO論	2前		2							1	
	地方自治と国際協力	2前		2							1	
	国際機構論	3・4後		2			1					
	比較税制論	3・4前		2		1						
	社会保障の国際比較	3・4前		2							1	
	都市計画の国際比較	3・4前		2							1	
	資源・エネルギー論	2後		2							1	
	小計(38 科目)	—	0	76	0	2	2	0	2	0	20	
	専門 発展科目	Advanced English W/R I	2前		2			1				3
		Advanced English W/R II	2後		2			1				3
		Advanced English L/S I	2前		2				1		1	3
		Advanced English L/S II	2後		2				1		1	3
		Academic Writing I	3・4前		2					1		
		Academic Writing II	3・4後		2					1		
		Business Communication I	3・4前		2							1
		Business Communication II	3・4後		2							1
		Exam Prep. III	2前		2							1
		Exam Prep. IV	2後		2					1		
コミュニ ケー ション 科目群		Comprehensive English I	3・4前		2				1			
		Comprehensive English II	3・4後		2					1		
		Current Affairs	3・4前		2					1		
		翻訳実践	3・4前		2							1
		観光英語	3・4前		2							1
		貿易英語	3・4後		2							1
		日本語文章表現 I	2前		2				1			1
		日本語文章表現 II	2後		2					1		1
		日本語コミュニケーション技法 I	2前		2					1		
		日本語コミュニケーション技法 II	2後		2					1		
	アカデミックライティング	3・4前		2					1			
	テクニカルライティング	3・4後		2					1			
	情報セキュリティ論	2前		2				1				
	ビジネスアプリケーション	2後		2					1			
	クラウド活用実践	3・4後		2					1			
	データマイニング	3・4前		2					1			
	Webデザイン実践	3・4後		2					1			
	メディア論	2前		2						1		
	グローバル化とメディア	2後		2							1	
	ソーシャルメディア論	3・4前		2				1				
メディアと広告	3・4前		2							1		
ジャーナリズム論	3・4後		2							1		
ことばと文化	2前		2				1					
社会心理学	2前		2							1		
異文化コミュニケーション	2後		2							1		
プレゼンテーション実践	3・4前		2							1		
ディベート実践	3・4後		2							1		
ビジネス交渉	3・4後		2							1		
小計(38 科目)	—	8	68	0	4	4	0	1	0	15		

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
専門 教育科目 専門 発展科目 コミュニ ケー ション 科目群	国際社会と人の移動 International Migration Multiculturalism in Modern Society 異文化適応論 政治地理学 NPO・NGO論 地方自治と国際協力 国際機構論 比較税制論 社会保障の国際比較 都市計画の国際比較 資源・エネルギー論 小計(47 科目)	2後	2			1					
		2前	2			1					
		2後	2			1					
		2後	2			1					
		3・4後	2							1	
		2前	2							1	
		2前	2							1	
		3・4後	2			1					
		3・4前	2			1					
		3・4前	2							1	
		3・4前	2							1	
		2後	2							1	
		0	94	0	2	5	0	1	0	19	
		Advanced English W/R I	2前	2			1				11
		Advanced English W/R II	2後	2			1				11
		Advanced English L/S I	2前	2				2			8
		Advanced English L/S II	2後	2				2			8
		Academic Writing I	3・4前	2				1			
		Academic Writing II	3・4後	2				1			
		Business Communication I	3・4前	2							1
		Business Communication II	3・4後	2							1
		Exam Prep. III	2前後	2							2
		Exam Prep. IV	2前後	2				1			1
		Exam Prep. V	2前後	2							2
		Exam Prep. VI	2後	2							1
		Comprehensive English I	3・4前	2				1			
		Comprehensive English II	3・4後	2				1			
		Current Affairs	3・4前	2				1			
		Readings for Global Issues I	2前	2					1		
		Readings for Global Issues II	2後	2					1		
		翻訳実践	3・4前	2							1
		観光英語	3・4前	2							1
		貿易英語	3・4後	2							1
		日本語文章表現 I	2前	2				1			1
		日本語文章表現 II	2後	2				1			1
		日本語コミュニケーション技法 I	2前	2				1			
		日本語コミュニケーション技法 II	2後	2				1			
		アカデミックライティング	3・4前	2				1			
		テクニカルライティング	3・4後	2				1			
		情報セキュリティ論	2前	2				1			
		ビジネスアプリケーション	2後	2				1			
		クラウド活用実践	3・4後	2				1			
		データマイニング	3・4前	2				1			
		Webデザイン実践	3・4前	2				1			
		メディア論	2前	2							1
		グローバル化とメディア	2後	2							1
		ソーシャルメディア論	3・4後	2				1			
メディアと広告	3・4前	2							1		
ジャーナリズム論	3・4後	2							1		
ことばと文化	2前	2				1					
社会心理学	2前	2							1		
異文化コミュニケーション	2後	2							1		
プレゼンテーション実践	3・4前	2							1		
ディベート実践	3・4後	2							1		
ビジネス交渉	3・4後	2							1		
小計(42 科目)	—	8	76	0	5	4	0	0	0	31	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
経済系科目	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2			1				
	マクロ経済学Ⅱ	2前	2			1				
	経済政策概論	2後	2			1				
	国際経済学概論	2後	2			1				
	国際金融概論	2後	2				1			
	比較経済論	2前	2			1				
	Japanese Economy	3・4前	2							1
	中国経済論	3・4前	2							1
	東南アジア経済論	3・4後	2							1
	アメリカ経済論	3・4後	2							1
	ヨーロッパ経済論	3・4後	2			1				
	ロシア経済論	3・4後	2			1				
	航空経済論	3・4前	2							1
	Contemporary Economic Issues	3・4後	2							1
国際ビジネス関連科目群	経営管理概論	2前	2							1
	経営戦略論	2後	2							1
	Business Management	3・4後	2							1
	会計学概論	2前	2							1
	税法	3・4前	2							1
	国際会計論	3・4後	2							1
	経営情報概論	3・4後	2			1				
	マーケティング論	2前	2							1
	流通システム論	2後	2							1
	ビジネス統計	2後	2							1
	国際経営論	2後	2				1			
関連科目	外国為替論	3・4前	2				1			
	貿易商務論	3・4前	2							1
	貿易金融論	3・4前	2				1			
	国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							1
	国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							1
	国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							1
	観光概論	2前	2							1
	観光資源論	2後	2							1
	国際観光論	3・4前	2							1
	航空実務	3・4後	2							1
	クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							1
演習科目	ホスピタリティ論	3・4前	2							1
	Tourism and World Heritages	3・4後	2							1
	医療ビジネス論	3・4前	2							1
	小計(39科目)	-	0	78	0	3	1	0	0	21
	基礎演習A	1前	2			2	5		1	
	基礎演習B	1後	2			2	5		1	
	専門演習ⅠA	2前	2			2	5		1	
	専門演習ⅠB	2後	2			2	5		1	
	専門演習ⅡA	3前	2			4	3		1	
	専門演習ⅡB	3後	2			4	3		1	
	専門演習ⅢA	4前	2			4	3		1	
留学・体験科目	専門演習ⅢB	4後	2			4	3		1	
	小計(8科目)	-	4	12	0	5	5	0	1	0
	海外語学研修	1休	2			1	1		1	
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休	2			1	2		1	
	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休	2			1	2		1	
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	3	0	2	0
キャリア	国際キャリア開発A	1前	2							1
	国際キャリア開発B	1後	2							1
	国際キャリアデザイン演習A	2前	2							3
	国際キャリアデザイン演習B	2後	2							3
	小計(5科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
経済系科目	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2			1				
	マクロ経済学Ⅱ	2前	2			1				
	経済政策概論	2後	2			1				
	国際経済学概論	2後	2			1				
	国際金融概論	2後	2				1			
	比較経済論	2前	2			1				
	Japanese Economy	3・4前	2							1
	中国経済論	3・4後	2							1
	東南アジア経済論	3・4後	2							1
	アメリカ経済論	3・4後	2							1
	ヨーロッパ経済論	3・4後	2			1				
	ロシア経済論	3・4後	2			1				
	航空経済論	3・4前	2							1
	Contemporary Economic Issues	3・4後	2							1
国際ビジネス関連科目群	経営管理概論	2前	2							1
	経営戦略論	2後	2							1
	Business Management	3・4後	2							1
	会計学概論	2後	2							1
	税法	3・4前	2							1
	国際会計論	3・4後	2							1
	経営情報概論	3・4後	2			1				
	マーケティング論	2後	2							1
	流通システム論	2後	2							1
	ビジネス統計	2後	2							1
	国際経営論	2後	2				1			
関連科目	外国為替論	3・4前	2				1			
	貿易商務論	3・4前	2							1
	貿易金融論	3・4前	2				1			
	国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							1
	国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							1
	国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							1
	観光概論	2前	2							1
	観光資源論	2後	2							1
	国際観光論	3・4後	2							1
	航空実務	3・4後	2							1
	クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							1
演習科目	ホスピタリティ論	3・4前	2							1
	Tourism and World Heritages	3・4後	2							1
	医療ビジネス論	3・4前	2							1
	小計(39科目)	-	0	78	0	4	0	0	0	20
	基礎演習A	1前	2			3	5		1	
	基礎演習B	1後	2			3	5		1	
	専門演習ⅠA	2前	2			3	4		1	
	専門演習ⅠB	2後	2			3	4		1	
	専門演習ⅡA	3前	2			4	3		1	
	専門演習ⅡB	3後	2			4	3		1	
	専門演習ⅢA	4前	2			4	3		1	
留学・体験科目	専門演習ⅢB	4後	2			4	3		1	
	小計(8科目)	-	4	12	0	5	5	0	1	0
	海外語学研修	1休	2			1	3			
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休	2				5		1	1
	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休	2			1				
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	6	0	1	0
キャリア	国際キャリア開発A	1前	2							2
	国際キャリア開発B	1後	2							2
	国際キャリアデザイン演習A	2前	2							4
	国際キャリアデザイン演習B	2後	2							4
	小計(5科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担	
				必 修	選 自	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手			
形成 科目	国際キャリア演習A	3前	2							3		
	国際キャリア演習B	3後	2							3		
	インターンシップ	2・3休	2							1		
	海外インターンシップ	2・3休	2							1		
	小計(8科目)	-	0	16	0					6		
合計(254科目)			-	20	482	0	8	6	0	2	0	96
卒業要件及び履修方法												
卒業要件単位は124単位とし、うち共通教育科目14単位以上、専門教育科目90単位以上を修得することとする。												
専門教育科目の卒業要件単位90単位について、以下の要件を定める。												
① 専門基礎科目において、「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」の4科目8単位を含め20単位以上を修得すること。												
② 専門発展科目において、国際理解科目群から10単位以上を修得すること。												
③ 国際コミュニケーションコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から30単位以上、国際ビジネス関連科目群から10単位以上を修得すること。												
④ グローバルキャリアコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から10単位以上、国際ビジネス関連科目群から30単位以上を修得すること。												
⑤ 演習科目において、「基礎演習A」、「基礎演習B」の2科目4単位を修得すること。												
⑥ 留学・体験科目において、「海外語学研修」、「フィールド・プロジェクト I」のいずれか1科目2単位を修得すること。												
なお、履修制限単位として、年間履修上限48単位、学期履修上限単位26単位とする。												

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置						兼任・ 兼任	
			必 修	選 自	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手				
形 成 科 目	国際キャリア演習A	3前	2								3	
	国際キャリア演習B	3後	2								3	
	インターンシップ	2・3休	2								1	
	海外インターンシップ	2・3休	2								1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	11	
合計(279科目)			—	20	531	0	9	7	0	1	0	129
卒業要件及び履修方法												
卒業要件単位は124単位とし、うち共通教育科目14単位以上、専門教育科目90単位以上を修得することとする。												
専門教育科目の卒業要件単位90単位について、以下の要件を定める。												
① 専門基礎科目において、「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」の4科目8単位を含め20単位以上を修得すること。												
② 専門発展科目において、国際理解科目群から10単位以上を修得すること。												
③ 国際コミュニケーションコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から30単位以上、国際ビジネス関連科目群から10単位以上を修得すること。												
④ グローバルキャリアコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から10単位以上、国際ビジネス関連科目群から30単位以上を修得すること。												
⑤ 演習科目において、「基礎演習A」、「基礎演習B」の2科目4単位を修得すること。												
⑥ 留学・体験科目において、「海外語学研修」、「フィールド・プロジェクト I」のいずれか1科目2単位を修得すること。												
なお、履修制限単位として、年間履修上限48単位、学期履修上限単位26単位とする。												

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	文章表現入門	1前	2								9
	基礎体育A	1前	1								4
	基礎体育B	1後	1								4
	哲学	1・2・3・4後	2								1
	日本史	1・2・3・4後	2								2
	日本近現代史	1・2・3・4後	2								1
	西洋史	1・2・3・4後	2								1
	考古学	1・2・3・4前	2								1
	文化人類学	1・2・3・4後	2								1
	文学	1・2・3・4前	2								2
	言語学	1・2・3・4前	2								1
	教育学	1・2・3・4後	2								1
	心理学	1・2・3・4後	2								2
	日本国憲法	1・2・3・4前	2								1
	法学	1・2・3・4後	2								1
	政治学	1・2・3・4後	2								1
	経済学	1・2・3・4後	2								1
	地理学	1・2・3・4後	2								1
	社会学	1・2・3・4後	2								1
	日本事情入門	1・2・3・4前	2								1
	現代日本事情	1・2・3・4後	2								2
	化学と生活	1・2・3・4後	2								1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	情報システム論	1・2・3・4前	2								1
	ソフトウェア論	1・2・3・4後	2								1
	ネットワーク論	1・2・3・4後	2		1						
	ワープロ実践	1・2・3・4前	2								1
	表計算実践	1・2・3・4後	2		1						
	データベース実践	1・2・3・4後	2								1
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後	2								1
	表計算応用	2・3・4後	2		1						
	プログラミング実践	2・3・4前	2		1						
	情報科学演習	2・3・4前	2								1
	環境論	1・2・3・4前	2								2
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前	2								1
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後	2								1
	平和学	1・2・3・4前	2								3
	マスコミ論	1・2・3・4後	2								2
	地域文化論	1・2・3・4前	2								2
	芸術学	1・2・3・4後	2								1
	河内学	1・2・3・4前	2								6
	現代社会学	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と人権	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と教育	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と健康	1・2・3・4休	2								1
	現代社会と日本語	1・2・3・4後	2								1
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前	2								2
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2								3
	現代社会とメディア	1・2・3・4後	2								1
	人権の諸問題	2・3・4前	2								1
	海運と港湾	2・3・4後	2								1
	日本の水産業と世界の 水産業	2・3・4前	2								1
	地球と環境	2・3・4前	2								1
	環境と経営	2・3・4前	2								1

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	文章表現入門	1前	2								8
	基礎体育A	1前	1								2
	基礎体育B	1後	1								2
	哲学	1・2・3・4後	2								1
	日本史	1・2・3・4後	2								2
	日本近現代史	1・2・3・4後	2								1
	西洋史	1・2・3・4後	2								1
	考古学	1・2・3・4前	2								1
	文化人類学	1・2・3・4後	2								1
	文学	1・2・3・4前	2								2
	言語学	1・2・3・4前	2								1
	教育学	1・2・3・4後	2								1
	心理学	1・2・3・4後	2								2
	日本国憲法	1・2・3・4前	2								1
	法学	1・2・3・4後	2								1
	政治学	1・2・3・4後	2								1
	経済学	1・2・3・4後	2								1
	地理学	1・2・3・4後	2								1
	社会学	1・2・3・4後	2								1
	日本事情入門	1・2・3・4前	2								2
	現代日本事情	1・2・3・4後	2								2
	科学技術史	1・2・3・4後	2								1
	化学と生活	1・2・3・4後	2								1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	情報システム論	1・2・3・4前	2								1
	ソフトウェア論	1・2・3・4後	2								1
	ネットワーク論	1・2・3・4後	2								1
	ワープロ実践	1・2・3・4前	2								1
	表計算実践	1・2・3・4後	2								1
	データベース実践	1・2・3・4後	2								1
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後	2								1
	ワープロ応用	2・3・4前	2								1
	表計算応用	2・3・4後	2								1
	プログラミング実践	2・3・4前	2								1
	情報科学演習	2・3・4前	2								1
	環境論	1・2・3・4前	2								2
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前	2								2
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後	2								2
	平和学	1・2・3・4前	2								3
	マスコミ論	1・2・3・4後	2								2
	地域文化論	1・2・3・4前	2								2
	芸術学	1・2・3・4後	2								1
	河内学	1・2・3・4前	2								6
	現代社会学	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と人権	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と教育	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と健康	1・2・3・4休	2								1
	現代社会と日本語	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と科学	1・2・3・4後	2								1
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前	2								2
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2								3
	現代社会とメディア	1・2・3・4後	2								1
	人権の諸問題	2・3・4前	2								1
	海運と港湾	2・3・4後	2								1
	日本の水産業と世界の 水産業	2・3・4前	2								1
	地球と環境	2・3・4後	2								1
	環境と経営	2・3・4前	2								1

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
共通 教育 科目	環境と社会	2・3・4前	2							1
	環境と海洋	2・3・4後	2							1
	環境と生態	2・3・4後	2							1
	環境保全論	2・3・4休	2							2
	環境演習A	2・3・4前	2							1
	環境演習B	2・3・4後	2							1
	ビジネスリテラシー	2・3・4後	2							1
	総合演習a	2・3・4前	2							4
	総合演習b	2・3・4後	2							4
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4前	2							2
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	ロシア語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	ロシア語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前	2							5
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後	2							8
	中国語総合演習A	1・2・3・4前	2							1
	中国語総合演習B	1・2・3・4後	2							1
	ロシア語総合演習A	1・2・3・4前	2							1
	ロシア語総合演習B	1・2・3・4後	2							1
	日本語総合演習A	1・2・3・4前	2			1				2
	日本語総合演習B	1・2・3・4後	2			1				3
	中国語会話	1・2・3・4前	1							1
	韓国語会話	1・2・3・4後	1							1
	日本語会話	1・2・3・4後	1			1				5
	日本語表現	1・2・3・4後	1							6
	中国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4							1
	韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4							1
	健康科学論	1・2・3・4後	2							1
	心とからだの病理学	1・2・3・4後	2							1
	身体運動科学	1・2・3・4後	2							1
	スポーツ論	1・2・3・4前	2							1
	生涯スポーツA	1・2・3・4前	1							6
	生涯スポーツB	1・2・3・4後	1							6
	フィットネス実習A	1・2・3・4前	1							2
	フィットネス実習B	1・2・3・4後	1							2
	トレーニング演習A	1・2・3・4前	2							2
	トレーニング演習B	1・2・3・4後	2							2
	身体管理論	2・3・4後	2							2
	スポーツ指導論	2・3・4前	2							2
	スポーツ管理論	2・3・4前	2							2
	小計(99科目)	-	0	192	0	1	1			59
	異文化理解	1前	2			1			1	1
	日本史概論Ⅰ	1前	2							1
	日本史概論Ⅱ	1後	2							1
	世界史概論Ⅰ	1前	2			1				1
	世界史概論Ⅱ	1後	2			1				1
	国際社会と法	1後	2				1			
	市民社会と法	1前	2							1
	Intensive English W/RⅠ	1前	2			1				4

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
共通 教育 科目	環境と社会	2・3・4前	2							1
	環境と海洋	2・3・4後	2							1
	環境と生態	2・3・4後	2							1
	環境保全論	2・3・4休	2							3
	環境演習A	2・3・4前	2							1
	環境演習B	2・3・4後	2							1
	ビジネスリテラシー	2・3・4後	2							1
	総合演習a	2・3・4前	2							5
	総合演習b	2・3・4後	2							5
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4前	2							2
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4後	2							2
	ロシア語Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	ロシア語Ⅱ	1・2・3・4後	2							1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前	2							5
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前	2							5
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前後	2							10
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前後	2							5
	日本語Ⅴ	1・2・3・4後	2							7
	日本語Ⅵ	1・2・3・4後	2							7
	中国語総合演習A	1・2・3・4前	2							1
	中国語総合演習B	1・2・3・4後	2							1
	ロシア語総合演習A	1・2・3・4前	2							1
	ロシア語総合演習B	1・2・3・4後	2							1
	日本語総合演習A	1・2・3・4前	2				1			4
	日本語総合演習B	1・2・3・4後	2				1			4
	中国語会話	1・2・3・4前	1							1
	韓国語会話	1・2・3・4後	1							1
	日本語読解	1・2・3・4前	1							1
	日本語会話	1・2・3・4前	1							1
	日本語表現	1・2・3・4後	1							1
	中国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4							1
	韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4							1
	健康科学論	1・2・3・4後	2							1
	心とからだの病理学	1・2・3・4後	2							1
	身体運動科学	1・2・3・4後	2							1
	スポーツ論	1・2・3・4前	2							1
	生涯スポーツA	1・2・3・4前	1							4
	生涯スポーツB	1・2・3・4後	1							4
	フィットネス実習A	1・2・3・4前	1							2
	フィットネス実習B	1・2・3・4後	1							2
	トレーニング演習A	1・2・3・4前	2							2
	トレーニング演習B	1・2・3・4後	2							2
	身体管理論	2・3・4後	2							1
	スポーツ指導論	2・3・4前	2							1
	スポーツ管理論	2・3・4前	2							1
	小計(107科目)	-	0	207	0	1	1			70
	異文化理解	1前	2			1	1		1	0
	日本史概論Ⅰ	1前	2							1
	日本史概論Ⅱ	1後	2							1
	世界史概論Ⅰ	1前	2			1				1
	世界史概論Ⅱ	1後	2			1				1
	国際社会と法	1前	2				1			
	市民社会と法	1前	2							1
	日本と国際法	1後	2						1	
	Intensive English W/RⅠ	1前	2			1				9

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基礎科目	Intensive English W/R II	1後	2			1				4	
	Intensive English L/S I	1前	2				1		1	4	
	Intensive English L/S II	1後	2				1		1	4	
	Exam Prep. I	1前		2			1			1	
	Exam Prep. II	1後		2			1			1	
	情報リテラシー I	1前		2		2					
	情報リテラシー II	1後		2		2					
	メディアリテラシー	1後		2			1				
	コミュニケーション論	1後		2		1					
	ミクロ経済学 I	1前		2		1					
	マクロ経済学 I	1後		2		1					
	経営学概論	1前		2						1	
	国際ビジネス概論	1後		2			1				
小計(21科目)		-	8	34	0	6	4	0	1	0	16
国際理解科目群	日本文化論	2前		2							1
	比較文化論	2後		2		1			1		1
	多文化共生社会論	3・4前		2			1				2
	Japanese Culture	2後		2					1		
	Japanese History	2休		2							1
	Japanese Society	2前		2							1
	Japanese Geography	2後		2							1
	Japanese Law and Society	3・4前		2		1					
	Comparative Culture	3・4前		2							1
	Comparative Legal System	3・4後		2		1					
	ジェンダー論	2前		2							1
	宗教学	2後		2							1
	社会思想史	2前		2							1
	アジア史	2前		2		1					
	アメリカ史	2後		2							1
	ヨーロッパ史	2後		2							1
	現代中国事情	3・4前		2							1
	現代東南アジア事情	3・4前		2			1				
	現代オセアニア事情	3・4前		2							1
	現代アメリカ事情	3・4後		2							1
	現代ヨーロッパ事情	3・4後		2							1
	現代中東事情	3・4後		2							1
	Regional Studies(Asia)	3・4休		2							1
	Regional Studies(Oceania)	3・4前		2							1
	Regional Studies(America)	3・4休		2							1
	Regional Studies(Europe)	3・4後		2							1
	国際関係論	2前		2							1
国際協力法	3・4前		2			1					
国際人権法	3・4後		2			1					
国際社会と人の移動	2後		2			1					
政治地理学	3・4後		2							1	

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択 自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 基 礎 科 目	Intensive English W/R II	1後	2		1					9	
	Intensive English L/S I	1前	2			1		1		4	
	Intensive English L/S II	1後	2			1		1		4	
	Exam Prep. I	1前	2		1					1	
	Exam Prep. II	1後	2		1					1	
	情報リテラシー I	1前	2		2					1	
	情報リテラシー II	1後	2		2					1	
	メディアリテラシー	1後	2							1	
	コミュニケーション論	1後	2		1						
	ミクロ経済学 I	1前	2		1						
	マクロ経済学 I	1後	2		1						
	経営学概論	1前	2							1	
	国際ビジネス概論	1後	2		1						
小計(22 科目)		－	8	36	0	7	3	0	1	0	22
国 際 理 解 科 目 群	日本文化論	2前	2							1	
	比較文化論	2後	2		1			1		1	
	多文化共生社会論	3・4前	2			2				1	
	Japanese Culture	2後	2					1			
	Japanese History	2休	2							1	
	Japanese Society	2前	2							1	
	Japanese Geography	2後	2							1	
	Japanese Law and Society	3・4前	2		1						
	Comparative Culture	3・4前	2							1	
	Comparative Legal System	3・4後	2		1						
	ジェンダー論	2前	2							1	
	宗教学(未開講)	2後	2							1	
	社会思想史	2前	2							1	
	アジア史	2前	2		1						
	アメリカ史	2後	2							1	
	ヨーロッパ史	2後	2							1	
	現代中国事情	3・4前	2							1	
	現代東南アジア事情	3・4前	2			1					
	現代オセアニア事情	3・4前	2							1	
	現代アメリカ事情	3・4後	2							1	
	現代ヨーロッパ事情	3・4後	2							1	
	現代中東事情	3・4後	2							1	
	Regional Studies(Asia)	3・4休	2							1	
	Regional Studies(Oceania)	3・4前	2							1	
	Regional Studies(America)	3・4休	2							1	
	Regional Studies(Europe)	3・4後	2							1	
	国際関係論	2前	2								1
	安全保障と国際法	2前	2					1			
	国際紛争の平和的解決と国際法	2後	2					1			
	International Relations and Law (Introduction to International Law)	2後	2						1		
	国際協力法	3・4前	2			1					
	国際人権法	3・4後	2			1					
国際社会と人の移動	2後	2			1						
International Migration	2前	2			1						
Multiculturalism in Modern Society	2後	2			1						
異文化適応論	2後	2			1						
政治地理学	3・4後	2								1	

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	NPO・NGO論	2前	2								1
	地方自治と国際協力	2前	2								1
	国際機構論	3・4後	2			1					
	比較税制論	3・4前	2			1					
	社会保障の国際比較	3・4前	2								1
	都市計画の国際比較	3・4前	2								1
	資源・エネルギー論	2後	2								1
	小計(38科目)	—	0	76	0	3	2	0	1	0	20
	Advanced English W/R I	2前	2			1					3
	Advanced English W/R II	2後	2			1					3
	Advanced English L/S I	2前	2				1		1		3
	Advanced English L/S II	2後	2				1		1		3
	Academic Writing I	3・4前	2						1		
	Academic Writing II	3・4後	2						1		
	Business Communication I	3・4前	2								1
	Business Communication II	3・4後	2								1
	Exam Prep. III	2前	2								1
	Exam Prep. IV	2後	2						1		
	Comprehensive English I	3・4前	2			1					
	Comprehensive English II	3・4後	2			1					
	Current Affairs	3・4前	2			1					
	翻訳実践	3・4前	2								1
	観光英語	3・4前	2								1
	貿易英語	3・4後	2								1
	日本語文章表現 I	2前	2			1					1
	日本語文章表現 II	2後	2			1					1
	日本語コミュニケーション技法 I	2前	2			1					
	日本語コミュニケーション技法 II	2後	2			1					
	アカデミックライティング	3・4前	2			1					
	テクニカルライティング	3・4後	2			1					
	情報セキュリティ論	2前	2			1					
	ビジネスアプリケーション	2後	2			1					
	クラウド活用実践	3・4後	2			1					
	データマイニング	3・4前	2			1					
	Webデザイン実践	3・4後	2			1					
	メディア論	2前	2			1					
	グローバル化とメディア	2後	2								1
	ソーシャルメディア論	3・4前	2			1					
	メディアと広告	3・4前	2								1
	ジャーナリズム論	3・4後	2								1
	ことばと文化	2前	2			1					
	社会心理学	2前	2								1
	異文化コミュニケーション	2後	2								1
	プレゼンテーション実践	3・4前	2								1
	ディベート実践	3・4後	2								1
	ビジネス交渉	3・4後	2								1
	小計(38科目)	—	8	68	0	5	3	0	1	0	15
	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2			1					
	マクロ経済学Ⅱ	2前	2			1					
	経済政策概論	2後	2			1					
	国際経済学概論	2後	2			1					

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	NPO・NGO論	2前	2								1
	地方自治と国際協力	2前	2								1
	国際機構論	3・4後	2			1					
	比較税制論	3・4前	2			1					
	社会保障の国際比較	3・4前	2								1
	都市計画の国際比較	3・4前	2								1
	資源・エネルギー論	2後	2								1
	小計(44科目)	—	0	88	0	3	3	0	2	0	22
	Advanced English W/R I	2前	2			1					7
	Advanced English W/R II	2後	2			1					6
	Advanced English L/S I	2前	2				1		1		5
	Advanced English L/S II	2後	2				1		1		4
	Academic Writing I	3・4前	2						1		
	Academic Writing II	3・4後	2						1		
	Business Communication I	3・4前	2								1
	Business Communication II	3・4後	2								1
	Exam Prep. III	2前	2								2
	Exam Prep. IV	2後	2						1		1
	Comprehensive English I	3・4前	2			1					
	Comprehensive English II	3・4後	2			1					
	Current Affairs	3・4前	2			1					
	Readings for Global Issues I	2前	2					1			
	Readings for Global Issues II	2後	2					1			
	翻訳実践	3・4前	2								1
	観光英語	3・4前	2								1
	貿易英語	3・4後	2								1
	日本語文章表現 I	2前	2			1					1
	日本語文章表現 II	2後	2			1					1
	日本語コミュニケーション技法 I	2前	2			1					
	日本語コミュニケーション技法 II	2後	2			1					
	アカデミックライティング	3・4前	2			1					
	テクニカルライティング	3・4後	2			1					
	情報セキュリティ論	2前	2			1					
	ビジネスアプリケーション	2後	2			1					
	クラウド活用実践	3・4後	2			1					
	データマイニング	3・4前	2			1					
	Webデザイン実践	3・4後	2			1					
	メディア論	2前	2								1
	グローバル化とメディア	2後	2								1
	ソーシャルメディア論	3・4前	2			1					
	メディアと広告	3・4前	2								1
	ジャーナリズム論	3・4後	2								1
	ことばと文化	2前	2			1					
	社会心理学	2前	2								1
	異文化コミュニケーション	2後	2								1
	プレゼンテーション実践	3・4前	2								1
	ディベート実践	3・4後	2								1
	ビジネス交渉	3・4後	2								1
	小計(40科目)	—	8	72	0	5	3	0	1	0	23
	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2			1					
	マクロ経済学Ⅱ	2前	2			1					
	経済政策概論	2後	2			1					
	国際経済学概論	2後	2			1					

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
国際ビジネス関連科目群	国際金融概論	2後	2			1					
	比較経済論	2前	2		1						
	Japanese Economy	3・4前	2							1	
	中国経済論	3・4前	2							1	
	東南アジア経済論	3・4後	2							1	
	アメリカ経済論	3・4後	2							1	
	ヨーロッパ経済論	3・4後	2		1						
	ロシア経済論	3・4後	2		1						
	航空経済論	3・4前	2							1	
	Contemporary Economic Issues	3・4後	2							1	
	経営管理概論	2前	2							1	
	経営戦略論	2後	2								
	Business Management	3・4後	2							1	
	会計学概論	2前	2							1	
	税法	3・4前	2								
	国際会計論	3・4後	2							1	
	経営情報概論	3・4後	2		1						
	マーケティング論	2前	2							1	
	流通システム論	2後	2							1	
	ビジネス統計	2後	2							1	
	国際経営論	2後	2			1					
関連科目	外国為替論	3・4前	2			1					
	貿易商務論	3・4前	2							1	
	貿易金融論	3・4前	2			1					
	国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							1	
	国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							1	
	国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							1	
	観光概論	2前	2							1	
	観光資源論	2後	2							1	
	国際観光論	3・4前	2							1	
	航空実務	3・4後	2							1	
演習科目	クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							1	
	ホスピタリティ論	3・4前	2							1	
	Tourism and World Heritages	3・4後	2							1	
	医療ビジネス論	3・4前	2							1	
	小計(39科目)	-	0	78	0	3	1	0	0	0	19
	基礎演習A	1前	2			2	6				
	基礎演習B	1後	2			2	6				
	専門演習ⅠA	2前	2			2	6				
留学・体験科目	専門演習ⅠB	2後	2			2	6				
	専門演習ⅡA	3前	2			4	4				
	専門演習ⅡB	3後	2			4	4				
	専門演習ⅢA	4前	2			4	4				
	専門演習ⅢB	4後	2			4	4				
	小計(8科目)	-	4	12	0	5	6	0	0	0	0
	海外語学研修	1休	2		1	1			1		
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休	2		1	3					
キャリア形成科目	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休	2		1	3					
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	4	0	1	0	0
	国際キャリア開発A	1前	2							1	
	国際キャリア開発B	1後	2							1	
	国際キャリアデザイン演習A	2前	2							3	
	国際キャリアデザイン演習B	2後	2							3	
	国際キャリア演習A	3前	2							3	
	国際キャリア演習B	3後	2							3	
インターンシップ	インターンシップ	2・3休	2							1	
	海外インターンシップ	2・3休	2							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
国際ビジネス関連科目群	国際金融概論	2後	2			1					
	比較経済論	2前	2		1						
	Japanese Economy	3・4前	2							1	
	中国経済論	3・4前	2							1	
	東南アジア経済論	3・4後	2							1	
	アメリカ経済論	3・4後	2							1	
	ヨーロッパ経済論	3・4後	2		1						
	ロシア経済論	3・4後	2		1						
	航空経済論	3・4前	2							1	
	Contemporary Economic Issues	3・4後	2							1	
	経営管理概論	2前	2							1	
	経営戦略論	2後	2							1	
	Business Management	3・4後	2							1	
	会計学概論	2前	2							1	
	税法	3・4前	2								
	国際会計論	3・4後	2							1	
	経営情報概論	3・4後	2		1						
	マーケティング論	2前	2							1	
	流通システム論	2後	2							1	
	ビジネス統計	2後	2							1	
	国際経営論	2後	2			1					
関連科目	外国為替論	3・4前	2			1					
	貿易商務論	3・4前	2							1	
	貿易金融論	3・4前	2			1					
	国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							1	
	国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							1	
	国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							1	
	観光概論	2前	2							1	
	観光資源論	2後	2							1	
	国際観光論	3・4前	2							1	
	航空実務	3・4後	2							1	
演習科目	クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							1	
	ホスピタリティ論	3・4前	2							1	
	Tourism and World Heritages	3・4後	2							1	
	医療ビジネス論	3・4前	2							1	
	小計(39科目)	-	0	78	0	4	0	0	0	0	19
	基礎演習A	1前	2			3	5		1		
	基礎演習B	1後	2			3	5		1		
	専門演習ⅠA	2前	2			3	4		1		
留学・体験科目	専門演習ⅠB	2後	2			3	4		1		
	専門演習ⅡA	3前	2			5	2		1		
	専門演習ⅡB	3後	2			5	2		1		
	専門演習ⅢA	4前	2			5	2		1		
	専門演習ⅢB	4後	2			5	2		1		
	小計(8科目)	-	4	12	0	6	5	0	1	0	0
	海外語学研修	1休	2		1	2			1		
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休	2		1	4			1		
キャリア形成科目	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休	2		1	4			1		
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	5	0	2		0
	国際キャリア開発A	1前	2							1	
	国際キャリア開発B	1後	2							1	
	国際キャリアデザイン演習A	2前	2							3	
	国際キャリアデザイン演習B	2後	2							3	
	国際キャリア演習A	3前	2							3	
	国際キャリア演習B	3後	2							3	
インターンシップ	インターンシップ	2・3休	2							1	
	海外インターンシップ	2・3休	2							1	

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	小計(8科目)	-	0	16	0						6
	合計(254科目)	-	20	482	0	9	6	0	1	0	104
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位は124単位とし、うち共通教育科目14単位以上、専門教育科目90単位以上を修得することとする。											
専門教育科目の卒業要件単位90単位について、以下の要件を定める。											
① 専門基礎科目において、「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」の4科目8単位を含め20単位以上を修得すること。											
② 専門発展科目において、国際理解科目群から10単位以上を修得すること。											
③ 国際コミュニケーションコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から30単位以上、国際ビジネス関連科目群から10単位以上を修得すること。											
④ グローバルキャリアコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から10単位以上、国際ビジネス関連科目群から30単位以上を修得すること。											
⑤ 演習科目において、「基礎演習A」、「基礎演習B」の2科目4単位を修得すること。											
⑥ 留学・体験科目において、「海外語学研修」、「フィールド・プロジェクト I」のいずれか1科目2単位を修得すること。											
なお、履修制限単位として、年間履修上限48単位、学期履修上限単位26単位とする。											

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	小計(8科目)	-	0	16	0						7
	合計(271科目)	-	20	515	0	10	5	0	2	0	131
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位は124単位とし、うち共通教育科目14単位以上、専門教育科目90単位以上を修得することとする。											
専門教育科目の卒業要件単位90単位について、以下の要件を定める。											
① 専門基礎科目において、「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」の4科目8単位を含め20単位以上を修得すること。											
② 専門発展科目において、国際理解科目群から10単位以上を修得すること。											
③ 国際コミュニケーションコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から30単位以上、国際ビジネス関連科目群から10単位以上を修得すること。											
④ グローバルキャリアコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から10単位以上、国際ビジネス関連科目群から30単位以上を修得すること。											
⑤ 演習科目において、「基礎演習A」、「基礎演習B」の2科目4単位を修得すること。											
⑥ 留学・体験科目において、「海外語学研修」、「フィールド・プロジェクト I」のいずれか1科目2単位を修得すること。											
なお、履修制限単位として、年間履修上限48単位、学期履修上限単位26単位とする。											

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	文章表現入門	1前	2								7
	基礎体育A	1前	1								2
	基礎体育B	1後	1								2
	哲学	1・2・3・4後	2								1
	日本史	1・2・3・4後	2								2
	日本近現代史	1・2・3・4後	2								1
	西洋史	1・2・3・4後	2								1
	考古学	1・2・3・4前	2								1
	文化人類学	1・2・3・4後	2								1
	文学	1・2・3・4前	2								2
	言語学	1・2・3・4前	2								1
	教育学	1・2・3・4後	2								1
	心理学	1・2・3・4後	2								2
	日本国憲法	1・2・3・4前	2								1
	法学	1・2・3・4後	2								1
	政治学	1・2・3・4後	2								1
	経済学	1・2・3・4後	2								1
	地理学	1・2・3・4後	2								1
	社会学	1・2・3・4後	2								1
	日本事情入門	1・2・3・4前	2								2
	現代日本事情	1・2・3・4後	2								2
	科学技術史	1・2・3・4前	2								1
	化学と生活	1・2・3・4後	2								1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	情報システム論	1・2・3・4後	2								1
	ソフトウェア論	1・2・3・4前	2								1
	ネットワーク論	1・2・3・4後	2								1
	ワープロ実践	1・2・3・4前	2								2
	表計算実践	1・2・3・4後	2			1					1
	データベース実践	1・2・3・4後	2								1
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後	2								2
	ワープロ応用	2・3・4前	2								1
	表計算応用	2・3・4後	2			1					
	プログラミング実践	2・3・4前	2			1					
	情報科学演習	2・3・4前	2								1
	環境論	1・2・3・4前	2								1
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前	2								2
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後	2								2
	平和学	1・2・3・4前	2								3
	マスコミ論	1・2・3・4前	2								1
	地域文化論	1・2・3・4前	2								2
	芸術学	1・2・3・4後	2								1
	河内学	1・2・3・4前	2								6
	現代社会学	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と人権	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と教育	1・2・3・4前	2								1
	現代社会と健康	1・2・3・4休	2								1
	現代社会と日本語	1・2・3・4後	2								1
	現代社会と科学	1・2・3・4後	2								1
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前	2								2
	現代社会と観光	1・2・3・4前	2								3
	現代社会とメディア	1・2・3・4後	2								1
	人権の諸問題	2・3・4前	2								1
	海運と港湾	2・3・4後	2								1
	日本の水産業と世界の水産業	2・3・4前	2								1
	地球と環境	2・3・4後	2								1
	環境と経営	2・3・4前	2								1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教 育 科 目	環境と社会	2・3・4前	2								2
	環境と海洋	2・3・4後	2								1
	環境と生態	2・3・4後	2								1
	環境保全論	2・3・4休	2								1
	環境演習A	2・3・4前	2								1
	環境演習B	2・3・4後	2								1
	ビジネスリテラシー	2・3・4後	2								1
	総合演習a	2・3・4前	2								4
	総合演習b	2・3・4後	2								4
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4前	2								2
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4後	2								2
	ロシア語Ⅰ	1・2・3・4前	2								1
	ロシア語Ⅱ	1・2・3・4後	2								1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前	2								4
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前	2								6
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前後	2								5
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前後	2								7
	日本語Ⅴ	1・2・3・4後	2								7
	日本語Ⅵ	1・2・3・4後	2								6
	中国語総合演習A	1・2・3・4前	2								1
	中国語総合演習B	1・2・3・4後	2								1
	ロシア語総合演習A	1・2・3・4前	2								1
	ロシア語総合演習B	1・2・3・4後	2								1
	日本語総合演習A	1・2・3・4前	2			1					6
	日本語総合演習B	1・2・3・4後	2			1					6
	中国語会話	1・2・3・4前	1								1
	韓国語会話	1・2・3・4後	1								1
	日本語読解	1・2・3・4前	1								1
	日本語会話	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現	1・2・3・4後	1								1
	中国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4								1
	韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前	4								1
	健康科学論	1・2・3・4後	2								1
	心とからだの病理学	1・2・3・4後	2								1
	身体運動科学	1・2・3・4後	2								1
	スポーツ論	1・2・3・4前	2								1
	生涯スポーツA	1・2・3・4前	1								3
	生涯スポーツB	1・2・3・4後	1								3
	フィットネス実習A	1・2・3・4前	1								2
	フィットネス実習B	1・2・3・4後	1								2
	トレーニング演習A	1・2・3・4前	2								2
	トレーニング演習B	1・2・3・4後	2								2
	身体管理論	2・3・4後	2								1
	スポーツ指導論	2・3・4前	2								1
	スポーツ管理論	2・3・4後	2								1
	小計(107科目)	—	0	207	0	1	1	0	0	0	67
	異文化理解	1前	2			1	2				
	日本史概論Ⅰ	1前	2								1
	日本史概論Ⅱ	1後	2								1
	世界史概論Ⅰ	1前	2				1				1
	世界史概論Ⅱ	1後	2				1				1
	国際社会と法	1後	2								1
	市民社会と法	1前	2								1
	日本と国際法	1後	2					1			
	Intensive English W/RⅠ	1前	2			1					8

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	Intensive English W/R II	1後	2			1					8
	Intensive English L/S I	1前	2				2				3
	Intensive English L/S II	1後	2				2				3
	Exam Prep. I	1前	2			1					2
	Exam Prep. II	1後	2			1					3
	情報リテラシー I	1前	2			2					1
	情報リテラシー II	1後	2			2					1
	メディアリテラシー	1後	2								1
	コミュニケーション論	1後	2			1					
	ミクロ経済学 I	1前	2			1					
	マクロ経済学 I	1後	2			1					
	経営学概論	1前	2								1
	国際ビジネス概論	1後	2			1					
	小計(22科目)	-	8	36	0	6	4	0	1	0	22
国際理解科目群	日本文化論	2前	2								1
	比較文化論	2後	2			1					2
	多文化共生社会論	3・4前	2			2					1
	Japanese Culture	2後	2			1					
	Japanese History	2休	2								1
	Japanese Society	2前	2								1
	Japanese Geography	2後	2								1
	Japanese Law and Society	3・4前	2			1					
	Comparative Culture	3・4後	2								1
	Comparative Legal System	3・4後	2			1					
	ジェンダー論	2前	2								1
	宗教学	2後	2								1
	社会思想史	2前	2								1
	アジア史	2前	2			1					
	アメリカ史	2前	2								1
	ヨーロッパ史	2前	2								1
	現代中国事情	3・4前	2								1
	現代東南アジア事情	3・4前	2			1					
	現代オセアニア事情	3・4前	2								1
	現代アメリカ事情	3・4後	2								1
	現代ヨーロッパ事情	3・4後	2								1
	現代中東事情	3・4後	2								1
	Regional Studies (Asia)	3・4休	2								1
	Regional Studies (Oceania)	3・4後	2								1
	Regional Studies (America) (未開講)	3・4後	2								1
	Regional Studies (Europe)	3・4後	2								1
	国際関係論	2休	2								1
	安全保障と国際法	2前	2					1			
	国際紛争の平和的解決と国際法	2後	2					1			
	International Relations and Law (Introduction to International Law)	2後	2					1			
	国際協力法	3・4前	2								1
	国際人権法	3・4後	2								1
	国際社会と人の移動	2後	2			1					
	International Migration	2前	2			1					
	Multiculturalism in Modern Society	2後	2			1					
	異文化適応論	2後	2			1					
	政治地理学	3・4後	2								1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育科目	NPO・NGO論	2前		2							1
	地方自治と国際協力	2前		2							1
	国際機構論	3・4後		2							1
	比較税制論	3・4前		2		1					
	社会保障の国際比較	3・4前		2							1
	都市計画の国際比較	3・4前		2							1
	資源・エネルギー論	2後		2							1
	小計(44科目)	—	0	88	0	2	4	0	1	0	25
	Advanced English W/R I	2前		2		1					10
	Advanced English W/R II	2後		2		1					10
	Advanced English L/S I	2前		2			2				4
	Advanced English L/S II	2後		2			2				4
	Academic Writing I	3・4前		2		1					
	Academic Writing II	3・4後		2		1					
	Business Communication I	3・4前		2							1
	Business Communication II	3・4後		2							1
	Exam Prep. III	2前後		2							2
	Exam Prep. IV	2前後		2		1					1
	Exam Prep. V	2前後		2							3
	Exam Prep. VI	2後		2							1
	Comprehensive English I	3・4前		2		1					
	Comprehensive English II	3・4後		2		1					
	Current Affairs	3・4前		2		1					
	Readings for Global Issues I	2前		2			1				
	Readings for Global Issues II	2後		2			1				
	翻訳実践	3・4前		2							1
	観光英語	3・4前		2							1
	貿易英語	3・4後		2							1
	日本語文章表現 I	2前		2		1					1
	日本語文章表現 II	2後		2		1					1
	日本語コミュニケーション技法 I	2前		2		1					
	日本語コミュニケーション技法 II	2後		2		1					
	アカデミックライティング	3・4前		2		1					
	テクニカルライティング	3・4後		2		1					
	情報セキュリティ論	2前		2		1					
	ビジネスアプリケーション	2後		2		1					
	クラウド活用実践	3・4後		2		1					
	データマイニング	3・4前		2		1					
	Webデザイン実践	3・4前		2		1					
	メディア論	2前		2							1
	グローバル化とメディア	2後		2							1
	ソーシャルメディア論	3・4後		2		1					
	メディアと広告	3・4前		2							1
	ジャーナリズム論	3・4後		2							1
	ことばと文化	2前		2		1					
	社会心理学	2前		2							1
	異文化コミュニケーション	2後		2							1
	プレゼンテーション実践	3・4前		2							1
	ディベート実践	3・4後		2							1
	ビジネス交渉	3・4後		2							1
	小計(42科目)	—	8	76	0	5	4	0	0	0	25
専門 教育科目	ミクロ経済学Ⅱ	2前		2		1					
	マクロ経済学Ⅱ	2前		2		1					
	経済政策概論	2後		2		1					
	国際経済学概論	2後		2		1					

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際 ビジネス 関連科目群	経済系科目	国際金融概論	2後	2		1					
		比較経済論	2前	2		1					
		Japanese Economy	3・4前	2							1
		中国経済論	3・4後	2							1
		東南アジア経済論	3・4後	2							1
		アメリカ経済論	3・4後	2							1
		ヨーロッパ経済論	3・4後	2		1					
		ロシア経済論	3・4後	2		1					
		航空経済論	3・4前	2							1
		Contemporary Economic Issues	3・4後	2							1
	経営系科目	経営管理概論	2前	2							1
		経営戦略論	2後	2							1
		Business Management	3・4後	2							1
		会計学概論	2前	2							1
		税法	3・4前	2							1
		国際会計論(未開講)	3・4後	2							1
		経営情報概論	3・4後	2		1					
		マーケティング論	2前	2							1
		流通システム論	2後	2							1
		ビジネス統計	2後	2							1
		国際経営論	2後	2		1					
		外国為替論	3・4前	2		1					
		貿易商務論	3・4前	2							1
		貿易金融論	3・4前	2		1					
	関連科目	国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							1
		国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							1
		国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							1
		観光概論	2前	2							1
		観光資源論	2後	2							1
		国際観光論	3・4後	2							1
		航空実務	3・4後	2							1
		クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							1
		ホスピタリティ論	3・4前	2							1
		Tourism and World Heritages	3・4後	2							1
		医療ビジネス論	3・4前	2							1
		小計(39科目)	-	0	78	0	4	0	0	0	18
演習科目	基礎演習A	1前	2			3	5		1		
	基礎演習B	1後	2			3	5		1		
	専門演習ⅠA	2前	2			3	4		1		
	専門演習ⅠB	2後	2			3	4		1		
	専門演習ⅡA	3前	2			4	2		1		1
	専門演習ⅡB	3後	2			4	2		1		1
	専門演習ⅢA	4前	2			4	3		1		
	専門演習ⅢB	4後	2			4	3		1		
	小計(8科目)	-	4	12	0	5	5	0	1	0	1
留学・ 体験科目	海外語学研修	1休	2			1	3				
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休	2			1	4		1		
	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休	2			1	4		1		
	小計(3科目)	-	0	6	0	2	6	0	1	0	0
キャリア 形成科目	国際キャリア開発A	1前	2								1
	国際キャリア開発B	1後	2								1
	国際キャリアデザイン演習A	2前	2								3
	国際キャリアデザイン演習B	2後	2								3
	国際キャリア演習A	3前	2								3
	国際キャリア演習B	3後	2								3
	インターンシップ	2・3休	2								1
	海外インターンシップ	2・3休	2								1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	9
	合計(273科目)	—	20	519	0	9	6	0	1	0	129
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位は124単位とし、うち共通教育科目14単位以上、専門教育科目90単位以上を修得することとする。 専門教育科目の卒業要件単位90単位について、以下の要件を定める。 ① 専門基礎科目において、「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」の4科目8単位を含め20単位以上を修得すること。 ② 専門発展科目において、国際理解科目群から10単位以上を修得すること。 ③ 国際コミュニケーションコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から30単位以上、国際ビジネス関連科目群から10単位以上を修得すること。 ④ グローバルキャリアコースを選択したものは、専門発展科目において、「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」の4科目8単位を含めコミュニケーション科目群から10単位以上、国際ビジネス関連科目群から30単位以上を修得すること。 ⑤ 演習科目において、「基礎演習A」、「基礎演習B」の2科目4単位を修得すること。 ⑥ 留学・体験科目において、「海外語学研修」、「フィールド・プロジェクト I」のいずれか1科目2単位を修得すること。 なお、履修制限単位として、年間履修上限48単位、学期履修上限単位26単位とする。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「文章表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「基礎体育A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「基礎体育B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「哲学」の科目担当者を変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「日本史」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「経済学」の科目担当者を変更。
- ・兼任教員の委嘱辞退の理由により、「地理学」の科目担当者を変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「現代日本事情」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任教員を新規採用したため、「情報システム論」の科目担当者を変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「マスコミ論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「地域文化論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「現代社会と観光」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「総合演習a」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「総合演習b」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「日本語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「日本語総合演習A」の科目担当者を変更。
- ・時間割編成上の理由により、「日本語総合演習B」の科目担当者を変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「日本語会話」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「日本語表現」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「生涯スポーツA」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「生涯スポーツB」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「身体健康論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「スポーツ指導論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「スポーツ管理論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るためにクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「Intensive English W/RⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るためにクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「Intensive English W/RⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「Intensive English L/SⅠ」のクラス数を増加。
- ・教育の充実を図るために、「Intensive English L/SⅡ」のクラス数を増加。
- ・教育の充実を図るためにクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「Exam Prep.Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るためにクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「Exam Prep.Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「多文化共生社会論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授の昇格による職位変更により、「Japanese Law and Society」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授の昇格による職位変更により、「Comparative Legal System」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「現代東南アジア事情」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「国際社会と人の移動」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授の昇格による職位変更により、「Comprehensive EnglishⅠ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授の昇格による職位変更により、「Comprehensive EnglishⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授の昇格による職位変更により、「Current Affairs」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者が退職。「経営戦略論」は未開講の科目であるため、開講年度までに科目担当者を決定する。
- ・科目担当者が退職。「税法」は未開講の科目であるため、開講年度までに科目担当者を決定する。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「基礎演習A」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」、「助教1」から「助教0」に変更。

- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「基礎演習B」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅠA」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅠB」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅡA」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅡB」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅢA」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅢB」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「フィールド・プロジェクトⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・梶村美紀准教授の昇格による職位変更により、「フィールド・プロジェクトⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教1」から「助教0」に変更。

【平成29年度】

- ・兼任教員の退職及び時間割編成上の理由により、「文章表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担8」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「基礎体育A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「基礎体育B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「日本事情入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「科学技術史」を新規開設。
- ・時間割編成上の理由により、「ネットワーク論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「ワープロ応用」を新規開設。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「環境フィールドスタディⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「環境フィールドスタディⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「現代社会と科学」を新規開設。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者及び開講時期を変更したため、「地球と環境」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・兼任教員を新規採用し、科目担当者を追加したため、「環境保全論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「総合演習a」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「総合演習b」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「韓国語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、開講時期を変更したため、「日本語Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「日本語Ⅲ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「日本語Ⅳ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「日本語Ⅴ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「日本語Ⅵ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加・変更したため、「日本語総合演習A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加・変更したため、「日本語総合演習B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「日本語読解」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、開講時期を変更したため、「日本語会話」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語会話」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語表現」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「生涯スポーツA」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「生涯スポーツB」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「身体管理論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「スポーツ指導論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・兼任教員の退職により、「スポーツ管理論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・専任教員の新規採用し、科目担当者を変更したため、「異文化理解」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「国際社会と法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、「日本と国際法」を新規開設。

- ・時間割編成上の理由により、「Intensive English W/R I」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Intensive English W/R II」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Intensive English L/S I」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Intensive English L/S II」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・専任教員の退職により、「メディアリテラシー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「国際ビジネス概論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員を新規採用し、科目担当者を変更したため、「多文化共生社会論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「安全保障と国際法」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「国際紛争の平和的解決と国際法」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「International Relations and Law(Introduction to International Law)」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「International Migration」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「Multiculturalism in Modern Society」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「異文化適応論」を新規開設。
- ・時間割編成上の理由により、「Advanced English W/R I」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Advanced English W/R II」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Advanced English L/S I」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Advanced English L/S II」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「Exam Prep. III」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「Exam Prep. IV」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「Readings for Global Issues I」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために専任教員を新規採用し、「Readings for Global Issues II」を新規開設。
- ・専任教員の退職により、「メディア論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「国際金融概論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・兼任教員の退職により、科目担当者を変更したため、「経営戦略論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「国際経営論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「外国為替論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「貿易金融論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「基礎演習A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授6」から「准教授5」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「基礎演習B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授6」から「准教授5」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「基礎演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授6」から「准教授4」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「基礎演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授6」から「准教授4」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅢA」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用、また高砂謙二教授の昇格による職位変更により、「専門演習ⅢB」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員を新規採用し、科目担当者を変更したため、「海外語学研修」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員を新規採用し、科目担当者を変更したため、「フィールド・プロジェクトⅠ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員を新規採用し、科目担当者を変更したため、「フィールド・プロジェクトⅡ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「助教0」から「助教1」に変更。

【平成30年度】

- ・時間割編成上の理由により、「文章表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「科学技術史」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「情報システム論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「ソフトウェア論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加したため、「表計算実践」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。

- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「データベース実践」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「環境論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「マスコミ論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「マスコミ論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加したため、「環境と社会」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「環境保全論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「総合演習a」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「総合演習b」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更・追加したため、「日本語Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅵ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語総合演習A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語総合演習B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「生涯スポーツA」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「生涯スポーツB」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「スポーツ管理論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「異文化理解」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「世界史概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「世界史概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の産休に伴い、「国際社会と法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の産休に伴い、「国際社会と法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「Intensive English W/RⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「Intensive English W/RⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Intensive English L/SⅠ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Intensive English L/SⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Exam Prep.Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Exam Prep.Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・専任教員の退職及びジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「比較文化論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Japanese Culture」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Comparative Culture」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「アジア史」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「アメリカ史」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「ヨーロッパ史」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Regional Studies(Oceania)」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。

- ・時間割編成上の理由により、「Regional Studies(America)」の配当年次を「3・4休」から「3・4後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「国際関係論」の配当年次を「2前」から「2休」に変更。
- ・専任教員の産休に伴い、「国際協力法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の産休に伴い、「国際人権法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の産休に伴い、「国際機構論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・科目担当者を追加・変更したため、「Advanced English W/R I」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・科目担当者を追加・変更したため、「Advanced English W/R II」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更及び時間割編成上の理由により、「Advanced English L/S I」の「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更及び時間割編成上の理由により、「Advanced English L/S II」の「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Academic Writing I」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Academic Writing II」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実を図るために、開講時期を変更したため、「Exam Prep. III」の配当年次を「2前」から「2前後」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を追加・変更したため、「Exam Prep. III」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育の充実を図るために、開講時期を変更したため、「Exam Prep. IV」の配当年次を「2後」から「2前後」に変更。
- ・教育の充実を図るためにクラス数を増加し、科目担当者を追加。また、ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「Exam Prep. IV」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「Exam Prep. V」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「Exam Prep. VI」を新規開設。
- ・時間割編成上の理由により、「Webデザイン実践」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「ソーシャルメディア論」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「中国経済論」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・兼任教員の退職により、科目担当者が未定だった科目について、科目担当者を決定。「税法」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「国際観光論」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「専門演習ⅡA」の「教授5」から「教授4」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「専門演習ⅡB」の「教授5」から「教授4」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「専門演習ⅢA」の「教授5」から「教授4」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・専任教員の退職及び新規採用により、「専門演習ⅢB」の「教授5」から「教授4」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・ジョナサン・チャールズ・ミルズ准教授の昇格による職位変更により、「海外語学研修」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教1」から「助教0」に変更。

【令和元年度】

- ・時間割編成上の理由により、「文章表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「科学技術史」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加したため、「デジタルプレゼンテーション」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「科学技術史」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「現代社会と科学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「日本の農業」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「世界の農業」を新規開設。
- ・時間割編成上の理由により、「総合演習a」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。

- ・時間割編成上の理由により、「総合演習b」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅴ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育の充実を図るために、科目担当者を変更したため、「日本語Ⅵ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「日本語総合演習A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「日本語総合演習B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「健康科学論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「フィットネス実習A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「フィットネス実習B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「国際政治学Ⅰ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Intensive English W/RⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Intensive English W/RⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Intensive English L/SⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Intensive English L/SⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Exam Prep.Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「Japanese Society」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「アメリカ外交史」を新規開設。
- ・時間割編成上の理由により、「Regional Studies(Oceania)」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「国際政治学Ⅱ」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために、「核問題と安全保障」を新規開設。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Advanced English W/RⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Advanced English W/RⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Advanced English L/SⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「Advanced English L/SⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「Exam Prep.Ⅴ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「会計学概論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「マーケティング論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「フィールド・プロジェクトⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授4」から「准教授5」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成上の理由により、「フィールド・プロジェクトⅡ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授0」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「国際キャリア開発A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「国際キャリア開発B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「国際キャリアデザイン演習A」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育の充実を図るために科目担当者を追加し、クラス数を増加したため、「国際キャリアデザイン演習B」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。

(注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	244 科目	0 科目	254 科目	10 科目 []	269 263 261 244 科目 [25]	0 科目 []	279 273 271 254 科目 [25]	教育課程の充実のため、授業科目を新規開設(29) 教育課程の充実のため、授業科目を新規開設(30) 教育課程の充実のため、授業科目を新規開設(元)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{254} = 0\%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	64,582.3㎡	㎡	㎡	64,582.3㎡				
	運動場用地	19,956.5㎡	㎡	㎡	19,956.5㎡				
	小 計	84,538.8㎡	㎡	㎡	84,538.8㎡				
	そ の 他	301,888.8㎡	㎡	㎡	301,888.8㎡				
	合 計	386,427.6㎡	㎡	㎡	386,427.6㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎解体による減少。提出済みの「建築等設置計画変更書」は本報告書末尾に添付(30)				
	34,158.4㎡ 34,765.7㎡ (34,765.7㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	34,158.4㎡ 34,765.7㎡ (34,765.7㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 国際学部で使用する教室数を記載(28) 教室の仕様変更等により増減(29)			
	27 28 29室	41 34 35室	3室	4室 (補助職員 人)	20室 (補助職員 人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		国際学部所属専任教員数の増加(29)			
	国際学部国際学科			17 46 室					
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分(完成年度)	
	国際学部	345,366 [75,204] (350,883 [75,506]) (348,897 [75,388]) (339,474 [75,112]) (339,121 [74,835]) (335,686 [74,644])	119 [5] (124 [8]) (119 [5])	2,236 [2,236] (2,236 [2,236])	542 (542)	8,038 7,680 (8,634) (8,527) (8,526) (7,680) (7,680)	()	図書345,366冊 [75,204冊] 学術雑誌2,355種 視聴覚資料542点 申請後の図書受入による増冊(28)	
	計	345,366 [75,204] (350,883 [75,506]) (348,897 [75,388]) (339,474 [75,112]) (339,121 [74,835]) (335,686 [74,644])	119 [5] (124 [8]) (119 [5])	2,236 [2,236] (2,236 [2,236])	542 (542)	8,038 7,680 (8,634) (8,527) (8,526) (7,680) (7,680)	()	機械・器具の購入による増加(28) 図書受入による増冊(29) 機械・器具の購入による増加(29) 図書受入による増冊(30) 機械・器具の購入による増加(30) 図書受入による増冊(元) 機械・器具の購入による増加(元)	
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		レイアウト変更による 閲覧座席数減(28)		
	4,410.0㎡		469 473		428,000冊				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	8,048.7㎡		テ ニ ス コ ー ト 2 面 弓道場1面、アーチェリー場1面						
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費見積時の繰上計算と 実際の支払額との差異 (28) 図書購入費、設備購入費 は国際学部単位での特定 不能なため、大学全体の 金額(29)
		教員1人当たり研究費等	508千円	508千円	図書購入費	2,017千円 2,153千円	14,909千円 1,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	541千円	1,672千円 541千円	設備購入費	18,556千円 18,569千円	44,320千円 1,000千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,196千円	1,016千円	1,036千円	1,056千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪経済法科大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経済学研究科										
経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.95	—	平成27年度	大阪府八尾市楽 音寺6丁目10番地	
経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.90	—	平成29年度	同上	
大学院全体	2	20	—	40	—	0.92	—	—	—	

大 学 の 名 称	大阪経済法科大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部	4	200	—	1,160	—	1.11	令和元年度	昭和46年度	大阪府八尾市楽 音寺6丁目10番地	令和元年度入学 定員定員変更(40 人) 令和元年度より 学生募集停止
経済学科	4	200	—	680	学士 (経済学)	1.11	令和元年度	昭和46年度	大阪府八尾市北 本町2丁目10番45 号	
経営学科	4	—	—	480	学士 (経営学)	1.12	—	平成23年度	同上	
経営学部	4	200	—	200	—	1.08	—	令和元年度	同上	
経営学科	4	200	—	200	学士 (経営学)	1.08	—	令和元年度	同上	
法学部	4	260	—	1,040	—	1.11	—	昭和46年度	同上	
法律学科	4	260	—	1,040	学士 (法学)	1.11	—	昭和46年度	同上	
国際学部	4	140	—	560	—	1.12	—	平成28年度	同上	
国際学科	4	140	—	560	学士 (国際学)	1.12	—	平成28年度	同上	
大学全体	4	800	—	2,960	—	1.11	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

33

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	中井 英雄 (65) <平成28年4月> 経済学博士	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	吳 志賢 (40) <平成28年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	岩見(長坂) 真希 (37) <平成28年4月> 博士(理学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践
専任	教授	ルベ エマニュエル (57) <平成28年4月> Doctorat(フランス)	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	准教授	高砂 謙二 (44) <平成28年4月> 修士(法学)※	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	中井 英雄 (66) <平成28年4月> 経済学博士	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	吳 志賢 (41) <平成28年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	岩見(長坂) 真希 (38) <平成28年4月> 博士(理学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践
専任	教授	ルベ エマニュエル (58) <平成28年4月> Doctorat(フランス)	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	准教授	高砂 謙二 (45) <平成28年4月> 修士(法学)※	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	中井 英雄 (67) <平成28年4月> 経済学博士	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	吳 志賢 (42) <平成28年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	岩見(長坂) 真希 (39) <平成28年4月> 博士(理学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践
専任	教授	ルベ エマニュエル (59) <平成28年4月> Doctorat(フランス)	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	高砂 謙二 (46) <平成28年4月> 修士(法学)※	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	中井 英雄 (68) <平成28年4月> 経済学博士	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	吳原 志賢 (43) <平成28年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	岩見(長坂) 真希 (40) <平成28年4月> 博士(理学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践
専任	教授	ルベ エマニュエル (60) <平成28年4月> Doctorat(フランス)	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	高砂 謙二 (47) <平成28年4月> 修士(法学)※	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	中井 英雄 (69) <平成28年4月> 経済学博士	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	吳原 志賢 (44) <平成28年4月> 博士(工学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	岩見(長坂) 真希 (41) <平成28年4月> 博士(理学)	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践
専任	教授	ルベ エマニュエル (61) <平成28年4月> Doctorat(フランス)	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB
専任	教授	高砂 謙二 (48) <平成28年4月> 修士(法学)※	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専任	助教	ミル・ジョサン・チャールズ (42) <平成28年4月> 異文化理解※ Intensive English L/S I Intensive English L/S II 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II Academic Writing I Academic Writing II Exam Prep. IV 海外語学研修
専任	助教	梶村 美紀 (50) <平成28年4月> 博士(学術) 多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習IA 専門演習IB 専門演習IIA 専門演習IIB 専門演習IIIA 専門演習IIIB フィールド・プロジェクトI フィールド・プロジェクトII
兼任	教授	長沼 進一 (67) <平成30年4月> 博士(経済学) 航空経済論
兼任	教授	バルダス グスタボ (53) <平成30年4月> 博士(経済学) Japanese Economy Contemporary Economic Issues
兼任	教授	深瀬 澄 (53) <平成28年4月> 経済学修士※ ビジネス統計 インターンシップ
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専任	助教	ミル・ジョサン・チャールズ (43) <平成28年4月> 修士(教育学) 異文化理解※ Intensive English L/S I Intensive English L/S II 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II Academic Writing I Academic Writing II Exam Prep. IV 海外語学研修
専任	准教授	梶村 美紀 (51) <平成28年4月> 博士(学術) 多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習IA 専門演習IB 専門演習IIA 専門演習IIB 専門演習IIIA 専門演習IIIB フィールド・プロジェクトI フィールド・プロジェクトII
兼任	教授	長沼 進一 (68) <平成30年4月> 博士(経済学) 航空経済論
兼任	教授	バルダス グスタボ (54) <平成30年4月> 博士(経済学) Japanese Economy Contemporary Economic Issues
兼任	教授	深瀬 澄 (54) <平成28年4月> 経済学修士※ ビジネス統計 インターンシップ
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	吉村 誠 (66) <平成29年4月> 文学士 メディアリテラシー メディア論
兼任	講師	宗田 勝也 (51) <平成30年4月> 博士(政策科学) メディアリテラシー メディア論
専任	助教	ミル・ジョサン・チャールズ (44) <平成28年4月> 修士(教育学) 異文化理解※ Intensive English L/S I Intensive English L/S II 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II Academic Writing I Academic Writing II Exam Prep. IV 海外語学研修
専任	准教授	梶村 美紀 (52) <平成28年4月> 博士(学術) 多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習IA 専門演習IB 専門演習IIA 専門演習IIB 専門演習IIIA 専門演習IIIB フィールド・プロジェクトI フィールド・プロジェクトII
兼任	教授	長沼 進一 (69) <平成30年4月> 博士(経済学) 航空経済論
兼任	教授	バルダス グスタボ (55) <平成30年4月> 博士(経済学) Japanese Economy Contemporary Economic Issues
兼任	教授	深瀬 澄 (55) <平成28年4月> 経済学修士※ ビジネス統計 インターンシップ
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	宗田 勝也 (52) <平成30年4月> 博士(政策科学) メディアリテラシー メディア論
専任	助教	ミル・ジョサン・チャールズ (45) <平成28年4月> 修士(教育学) 異文化理解※ Intensive English L/S I Intensive English L/S II 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II Academic Writing I Academic Writing II Exam Prep. IV 海外語学研修
専任	准教授	梶村 美紀 (53) <平成28年4月> 博士(学術) 多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習IA 専門演習IB 専門演習IIA 専門演習IIB 専門演習IIIA 専門演習IIIB フィールド・プロジェクトI フィールド・プロジェクトII
兼任	教授	長沼 進一 (70) <平成30年4月> 博士(経済学) 航空経済論
兼任	教授	バルダス グスタボ (56) <平成30年4月> 博士(経済学) Japanese Economy Contemporary Economic Issues
兼任	教授	深瀬 澄 (56) <平成28年4月> 経済学修士※ ビジネス統計 インターンシップ
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	伍 曜 (61) <平成28年4月> 博士(文学) フィールド・プロジェクトII
兼任	准教授	辻本 政雄 (48) <平成30年4月> 博士(商学) 航空経済論
兼任	教授	バルダス グスタボ (57) <平成30年4月> 博士(経済学) Japanese Economy Contemporary Economic Issues
兼任	教授	深瀬 澄 (57) <平成28年4月> 経済学修士※ ビジネス統計 インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	澤野 義一 (64) <平成28年4月> 博士(法学)	平和学※
兼任	教授	金 泰明 (63) <平成28年4月> 博士(国際学)	哲学 現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】 異文化理解※
兼任	教授	田中 嗣久 (61) <平成28年4月> 修士(法学)	法学 市民社会と法
兼任			
兼任	教授	多胡 圭一 (73) <平成28年4月> 法学修士※	政治学
兼任	教授	矢野 哲也 (55) <平成28年4月> 博士(国際公共政策)	平和学※
兼任	教授	西脇 邦雄 (60) <平成28年4月> 修士(人間科学)	地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※
兼任	教授	浅見 緑 (55) <平成28年4月> 文学修士※	文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	澤野 義一 (65) <平成28年4月> 博士(法学)	平和学※
兼任	教授	金 泰明 (64) <平成28年4月> 博士(国際学)	現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】 異文化理解※
兼任	准教授	渡邊 浩一 (35) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	哲学 文章表現入門
専任	准教授	本多 善 (32) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	異文化理解※
兼任	教授	田中 嗣久 (62) <平成28年4月> 修士(法学)	法学 市民社会と法
兼任	教授	櫻井 利江 (65) <平成29年4月> 法学修士※	法学
兼任	教授	多胡 圭一 (74) <平成28年4月> 法学修士※	政治学
兼任	准教授	森口 舞 (37) <平成29年4月> 博士(政治学)	政治学
兼任	教授	矢野 哲也 (56) <平成28年4月> 博士(国際公共政策)	平和学※
兼任	教授	西脇 邦雄 (61) <平成28年4月> 修士(人間科学)	地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※
兼任	教授	浅見 緑 (56) <平成28年4月> 文学修士※	文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	澤野 義一 (66) <平成28年4月> 博士(法学)	平和学※
兼任	教授	金 泰明 (65) <平成28年4月> 博士(国際学)	現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】
兼任	准教授	渡邊 浩一 (36) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	哲学 文章表現入門
専任	准教授	本多 善 (33) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	異文化理解※
兼任	教授	田中 嗣久 (63) <平成28年4月> 修士(法学)	市民社会と法
兼任	教授	櫻井 利江 (66) <平成29年4月> 法学修士※	法学
兼任	准教授	森口 舞 (38) <平成29年4月> 博士(政治学)	政治学
兼任	教授	矢野 哲也 (57) <平成28年4月> 博士(国際公共政策)	平和学※
兼任	教授	西脇 邦雄 (62) <平成28年4月> 修士(人間科学)	地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※
兼任	教授	浅見 緑 (57) <平成28年4月> 文学修士※	文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	澤野 義一 (68) <平成28年4月> 博士(法学)	平和学※
兼任	教授	金 泰明 (67) <平成28年4月> 博士(国際学)	現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】
兼任	准教授	渡邊 浩一 (37) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	哲学 文章表現入門 総合演習a 総合演習b
専任	准教授	本多 善 (34) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	異文化理解※
兼任	教授	田中 嗣久 (64) <平成28年4月> 修士(法学)	市民社会と法
兼任	教授	櫻井 利江 (67) <平成29年4月> 法学修士※	法学
兼任	准教授	田中 慎吾 (39) <平成31年4月> 博士(国際公共政策)	政治学
兼任	教授	矢野 哲也 (58) <平成28年4月> 博士(国際公共政策)	平和学※
兼任	教授	西脇 邦雄 (63) <平成28年4月> 修士(人間科学)	地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※
兼任	教授	浅見 緑 (58) <平成28年4月>	文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	谷花 佳介 (38) ＜平成30年4月＞ 博士(経済学)	兼任	助教	谷花 佳介 (39) ＜平成30年4月＞ 博士(経済学)	兼任	准教授	谷花 佳介 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(経済学)	兼任	准教授	谷花 佳介 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(経済学)	兼任	准教授	谷花 佳介 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(経済学)
		アメリカ経済論			アメリカ経済論			アメリカ経済論			アメリカ経済論			アメリカ経済論
兼任	助教	藤村 佳子 (33) ＜平成28年4月＞ 修士(経営学)※	兼任	助教	藤村 佳子 (34) ＜平成28年4月＞ 修士(経営学)※	兼任	助教	藤村 佳子 (35) ＜平成28年4月＞ 修士(経営学)※	兼任	准教授	藤村 佳子 (36) ＜平成28年4月＞ 修士(経営学)※			
		経営学概論 経営管理概論			経営学概論 経営管理概論			経営学概論 経営管理概論			経営学概論			
兼任	助教	林 英一 (31) ＜平成28年4月＞ 修士(経済学)	兼任	助教	林 英一 (32) ＜平成28年4月＞ 博士(社会学)	兼任	助教	林 英一 (33) ＜平成28年4月＞ 博士(社会学)	兼任	准教授	林 英一 (34) ＜平成28年4月＞ 博士(社会学)	兼任	准教授	林 英一 (35) ＜平成28年4月＞ 博士(社会学)
		文章表現入門 日本近現代史 河内学※ 日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ			文章表現入門 日本近現代史 河内学※ 日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ 日本史			日本近現代史 河内学※ 日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ 日本史 総合演習a 総合演習b			日本近現代史 河内学※ 日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ 日本史			日本近現代史 河内学※ 日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ 日本史
兼任	助教	乾 順子 (42) ＜平成28年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	助教	乾 順子 (43) ＜平成28年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	准教授	乾 順子 (44) ＜平成28年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	准教授	乾 順子 (45) ＜平成28年4月＞ 博士(人間科学)	兼任	准教授	乾 順子 (46) ＜平成28年4月＞ 博士(人間科学)
		社会学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 現代社会学 ジェンダー論			社会学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 現代社会学 ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論
兼任						兼任	准教授	樋口 くみ子 (37) ＜平成29年4月＞ 修士(社会学)※	兼任	准教授	樋口 くみ子 (38) ＜平成29年4月＞ 修士(社会学)※	兼任	准教授	樋口 くみ子 (39) ＜平成29年4月＞ 修士(社会学)※
								社会学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 現代社会学			統計学Ⅰ 現代社会学			社会学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 現代社会学
兼任									兼任	講師	西 徳宏 (27) ＜平成30年4月＞ 修士(人間科学)※			
											社会学 統計学Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	池田 良穂 (65) <平成28年4月> 工学博士	兼任	講師	池田 良穂 (66) <平成28年4月> 工学博士	兼任	講師	池田 良穂 (67) <平成28年4月> 工学博士	兼任	講師	池田 良穂 (68) <平成28年4月> 工学博士	兼任	講師	池田 良穂 (69) <平成28年4月> 工学博士
		現代社会と観光※ 海運と港湾 日本の水産業と世界の 水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス 論			現代社会と観光※ 海運と港湾 日本の水産業と世界の 水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス 論			現代社会と観光※ 海運と港湾 日本の水産業と世界の 水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス 論			海運と港湾 日本の水産業と世界の 水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス 論			海運と港湾 日本の水産業と世界の 水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス 論
兼任	講師	姜 信和 (48) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	姜 信和 (49) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	姜 信和 (50) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	姜 信和 (51) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	姜 信和 (52) <平成28年4月>
		地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※			地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※			地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※			地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※			地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論
兼任	講師	田原 護立 (67) <平成29年4月> Bachelor of Arts (米国)	兼任	講師	田原 護立 (68) <平成29年4月> Bachelor of Arts (米国)	兼任	講師	田原 護立 (69) <平成29年4月> Bachelor of Arts (米国)						
		総合演習a 総合演習b グローバル化とメ ディア			総合演習a 総合演習b グローバル化とメ ディア			総合演習a 総合演習b グローバル化とメ ディア						
兼任	講師	上野 裕 (63) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	上野 裕 (64) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	上野 裕 (65) <平成30年4月> 博士(文学)						
		現代社会と観光※ 地理学 都市計画の国際比較			現代社会と観光※ 都市計画の国際比較			都市計画の国際比較						
兼任	講師	堀内 千加 (37) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	堀内 千加 (38) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	堀内 千加 (39) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	堀内 千加 (40) <平成28年4月> 博士(文学)	兼任	講師	堀内 千加 (41) <平成28年4月> 博士(文学)
		地理学			地理学			地理学			地理学			地理学
兼任	講師	中川 正秋 (57) <平成29年4月> 文学士	兼任	講師	中川 正秋 (58) <平成29年4月> 文学士	兼任	講師	中川 正秋 (59) <平成29年4月> 文学士	兼任	講師	中川 正秋 (60) <平成29年4月> 文学士	兼任	講師	中川 正秋 (61) <平成29年4月> 文学士
		現代社会と観光※			現代社会と観光※			現代社会と観光※			現代社会と観光※			現代社会と観光※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
								荒木 俊之 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（人間・環境学）			荒木 俊之 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（人間・環境学）
								都市計画の国際比較			都市計画の国際比較
兼任	講師	西口 善規 (62) ＜平成28年4月＞ 法学士	兼任	准教授	西口 善規 (63) ＜平成28年4月＞ 法学士						
		トレーニング演習A トレーニング演習B			トレーニング演習A トレーニング演習B						

[illegible]

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		柳田 亮吾 (32) <平成28年4月> 修士(言語文化学)※
		言語学 異文化コミュニケーション
兼任 講師		福田 泰子 (35) <平成28年4月> 修士(英文学)※
		Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II
兼任 講師		グレン マイケル プラン (49) <平成30年4月> Bachelor of Arts (ニュージーランド)
		Regional Studies (Oceania) Business Communication I Business Communication II
兼任 講師		中尾 恭三 (36) <平成28年4月> 博士(文学)
		世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史
兼任 講師		北西 正人 (34) 平成29年4月 修士(経済学)※
		社会思想史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		柳田 亮吾 (33) <平成28年4月> 博士(言語文化学)
		言語学 異文化コミュニケーション
兼任 講師		福田 泰子 (36) <平成28年4月> 修士(英文学)※
		Advanced English W/R I Advanced English W/R II
兼任 講師		デイヴィス 恵美 (41) <平成28年4月> Master of Science (英国)
		Intensive English W/R I Intensive English W/R II
兼任 講師		グレン マイケル プラン (50) <平成30年4月> Bachelor of Arts (ニュージーランド)
		Regional Studies (Oceania) Business Communication I Business Communication II
兼任 講師		中尾 恭三 (37) <平成28年4月> 博士(文学)
		世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史
兼任 講師		北西 正人 (35) 平成29年4月 修士(経済学)※
		社会思想史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		柳田 亮吾 (34) <平成28年4月> 博士(言語文化学)
		言語学 異文化コミュニケーション
兼任 講師		石田 雅子 (49) <平成29年4月> 修士(実践英語教育学)
		Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II
兼任 講師		グレン マイケル プラン (51) <平成30年4月> Bachelor of Arts (ニュージーランド)
		Regional Studies (Oceania) Business Communication I Business Communication II
兼任 講師		中尾 恭三 (38) <平成28年4月> 博士(文学)
		世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史
兼任 講師		北西 正人 (36) 平成29年4月 修士(経済学)※
		社会思想史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		柳田 亮吾 (35) <平成28年4月> 博士(言語文化学)
		言語学 異文化コミュニケーション
兼任 講師		石田 雅子 (50) <平成29年4月> 修士(実践英語教育学)
		Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II
兼任 講師		高橋 麻奈 (34) <平成30年4月> 修士(国際開発学)※
		Regional Studies (Oceania)
兼任 講師		ハモンズ ジョアン ナ (47) <平成30年4月> Bachelor of Arts (英国)
		Business Communication I Business Communication II
兼任 講師		中尾 恭三 (39) <平成28年4月> 博士(文学)
		世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史
兼任 講師		北西 正人 (38) 平成29年4月 修士(経済学)※
		社会思想史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		柳田 亮吾 (36) <平成28年4月> 博士(言語文化学)
		言語学 異文化コミュニケーション
兼任 講師		石田 雅子 (51) <平成29年4月> 修士(実践英語教育学)
		Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II
兼任 講師		高橋 麻奈 (35) <平成30年4月> 博士(比較法学)
		Regional Studies (Oceania)
兼任 講師		ハモンズ ジョアン ナ (48) <平成30年4月> Bachelor of Arts (英国)
		Business Communication I Business Communication II
兼任 講師		中尾 恭三 (40) <平成28年4月> 博士(文学)
		世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史
兼任 講師		北西 正人 (37) 平成29年4月 修士(経済学)※
		社会思想史

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	ヒエラルド コルナトウスキ (36) ＜平成29年4月＞ 博士(文学)	ヒエラルド コルナトウスキ (37) ＜平成29年4月＞ 博士(文学)	ヒエラルド コルナトウスキ (38) ＜平成29年4月＞ 博士(文学)		
		Japanese Society Japanese Geography 政治地理学	Japanese Society Japanese Geography 政治地理学	政治地理学		
				網島 洋之 (41) ＜平成29年4月＞ 博士(地域研究)	網島 洋之 (42) ＜平成29年4月＞ 博士(地域研究)	網島 洋之 (43) ＜平成29年4月＞ 博士(地域研究)
				Japanese Society	Japanese Society	Japanese Society
				ヨハネス キーナー (35) ＜平成29年4月＞ 博士(文学)	ヨハネス キーナー (36) ＜平成29年4月＞ 博士(文学)	
				Japanese Geography	Japanese Geography	
						網島 洋之 (43) ＜平成29年4月＞ 博士(地域研究)
						Japanese Geography
					田代 和也 (30) ＜平成30年4月＞ 博士(国際公共政策)	田代 和也 (31) ＜平成30年4月＞ 博士(国際公共政策)
				政治地理学		政治地理学
兼任	講師	竹井 夏生 (40) ＜平成28年4月＞ 修士(学術)	竹井 夏生 (41) ＜平成28年4月＞ 修士(学術)	竹井 夏生 (42) ＜平成28年4月＞ 修士(学術)	竹井 夏生 (43) ＜平成28年4月＞ 修士(学術)	竹井 夏生 (44) ＜平成28年4月＞ 修士(学術)
		心理学 社会心理学	心理学 社会心理学	心理学 社会心理学	心理学 社会心理学	心理学 社会心理学
兼任	講師	李 良子 (60) ＜平成28年4月＞ 理学博士	李 良子 (61) ＜平成28年4月＞ 理学博士	李 良子 (62) ＜平成30年4月＞ 理学博士		
		心とからだの病理学 医療ビジネス論	心とからだの病理学 医療ビジネス論	医療ビジネス論		
				大島 由美子 (44) ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	大島 由美子 (45) ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
				心とからだの病理学	心とからだの病理学	
						下山 恵子 (47) ＜平成28年4月＞ 博士(医学)
						心とからだの病理学
					武藤 麻美 (38) ＜平成30年4月＞ 博士(人間科学)	武藤 麻美 (37) ＜平成30年4月＞ 博士(人間科学)
				医療ビジネス論		医療ビジネス論

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
兼任 講師	大野 勝好 (55) ＜平成28年4月＞ 法学士	大野 勝好 (56) ＜平成28年4月＞ 法学士	大野 勝好 (57) ＜平成28年4月＞ 法学士	大野 勝好 (58) ＜平成28年4月＞ 法学士	大野 勝好 (59) ＜平成28年4月＞ 法学士
兼任 講師	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B
兼任 講師	太田 結花 (54) ＜平成29年4月＞ 文学士	太田 結花 (55) ＜平成29年4月＞ 文学士	太田 結花 (56) ＜平成29年4月＞ 文学士	太田 結花 (57) ＜平成29年4月＞ 文学士	太田 結花 (58) ＜平成29年4月＞ 文学士
兼任 講師	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B
				中川 正秋 (58) ＜平成30年4月＞ 文学士	中川 正秋 (59) ＜平成30年4月＞ 文学士
				国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリア演習A 国際キャリア演習B
兼任 講師	大島 淑恵 (52) ＜平成29年4月＞ 修士(応用情報科学)	大島 淑恵 (53) ＜平成29年4月＞ 修士(応用情報科学)	大島 淑恵 (54) ＜平成29年4月＞ 修士(応用情報科学)	大島 淑恵 (55) ＜平成29年4月＞ 修士(応用情報科学)	大島 淑恵 (56) ＜平成29年4月＞ 修士(応用情報科学)
兼任 講師	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B
				三戸 康代 (41) ＜平成30年4月＞ 学士(比較文化)	三戸 康代 (42) ＜平成30年4月＞ 学士(比較文化)
				国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリア演習A 国際キャリア演習B
兼任 講師	笠田 真由美 (49) ＜平成29年4月＞ 学士(マネジメント)	笠田 真由美 (50) ＜平成29年4月＞ 学士(マネジメント)	笠田 真由美 (51) ＜平成29年4月＞ 学士(マネジメント)	笠田 真由美 (52) ＜平成29年4月＞ 学士(マネジメント)	笠田 真由美 (53) ＜平成29年4月＞ 学士(マネジメント)
兼任 講師	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B	国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B
			兼任 講師		
				中川 正秋 (57) ＜平成29年4月＞ 文学士	
				国際キャリアデザイン 演習A 国際キャリアデザイン 演習B	
				石井 里奈 (49) ＜平成30年4月＞ 学士(文学)	石井 里奈 (49) ＜平成30年4月＞ 学士(文学)
				国際キャリア演習A 国際キャリア演習B	国際キャリア演習A 国際キャリア演習B
兼任 講師	森 龍 (49) ＜平成28年4月＞	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師
兼任 講師	海外インターンシ ップ	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師
兼任 講師	鳥羽 美鈴 (39) ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師
兼任 講師	ヨーロッパ史 現代ヨーロッパ事情 Regional Studies (Europe)	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師
				鳥羽 美鈴 (42) ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	鳥羽 美鈴 (43) ＜平成29年4月＞ 博士(学術)
				ヨーロッパ史 現代ヨーロッパ事情 Regional Studies (Europe)	ヨーロッパ史 現代ヨーロッパ事情 Regional Studies (Europe)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	エドワード シュルツ (70) <平成29年4月> Ph.D. (米国)	Japanese History
兼任	講師	田中 慎吾 (35) <平成29年4月> 博士(国際公共政策)	アメリカ史 現代アメリカ事情
兼任	講師	菅瀬 晶子 (43) <平成29年4月> 博士(文学)	宗教学 現代中東事情
兼任	講師	鈴木 真弥 (38) <平成30年4月> 博士(社会学)	Regional Studies (Asia)
兼任	講師	明戸 隆浩 (39) <平成30年4月> 修士(社会学)※	Regional Studies (America)
兼任	講師	金森 康 (41) <平成29年4月> 修士(経済学)※	NPO・NGO論
兼任	講師	鏡 竜太郎 (39) <平成30年4月> 修士(理学)	ディベート実践 ビジネス交渉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	エドワード シュルツ (71) <平成29年4月> Ph.D. (米国)	Japanese History
兼任	講師	田中 慎吾 (36) <平成29年4月> 博士(国際公共政策)	アメリカ史 現代アメリカ事情
兼任	講師	菅瀬 晶子 (44) <平成29年4月> 博士(文学)	宗教学 現代中東事情
兼任	講師	鈴木 真弥 (39) <平成30年4月> 博士(社会学)	Regional Studies (Asia)
兼任	講師	明戸 隆浩 (40) <平成30年4月> 修士(社会学)※	Regional Studies (America)
兼任	講師	金森 康 (42) <平成29年4月> 修士(経済学)※	NPO・NGO論
兼任	講師	鏡 竜太郎 (40) <平成30年4月> 修士(理学)	ディベート実践 ビジネス交渉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	エドワード シュルツ (72) <平成29年4月> Ph.D. (米国)	Japanese History
兼任	講師	田中 慎吾 (37) <平成29年4月> 博士(国際公共政策)	アメリカ史 現代アメリカ事情
兼任	講師	菅瀬 晶子 (45) <平成29年4月> 博士(文学)	宗教学 現代中東事情
兼任	講師	鈴木 真弥 (40) <平成30年4月> 博士(社会学)	Regional Studies (Asia)
兼任	講師	明戸 隆浩 (41) <平成30年4月> 修士(社会学)※	Regional Studies (America)
兼任	講師	金森 康 (43) <平成29年4月> 修士(経済学)※	NPO・NGO論
兼任	講師	鏡 竜太郎 (41) <平成30年4月> 修士(理学)	ディベート実践 ビジネス交渉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	エドワード シュルツ (73) <平成29年4月> Ph.D. (米国)	Japanese History
兼任	講師	田中 慎吾 (38) <平成29年4月> 博士(国際公共政策)	アメリカ史 現代アメリカ事情
兼任	准教授	石田 友梨 (37) <平成28年4月> 博士(地域研究)	宗教学 現代中東事情
兼任	講師	菅野(小野原)美佐子 (42) <平成30年4月> 博士(文学)	Regional Studies (Asia)
兼任	准教授	森口 舞 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	Regional Studies (America)
兼任	講師	金森 康 (44) <平成29年4月> 修士(経済学)※	NPO・NGO論
兼任	講師	鏡 竜太郎 (41) <平成30年4月> 修士(理学)	ディベート実践 ビジネス交渉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	エドワード シュルツ (74) <平成29年4月> Ph.D. (米国)	Japanese History
兼任	准教授	田中 慎吾 (39) <平成31年4月> 博士(国際公共政策)	文章表現入門 国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ アメリカ史 アメリカ外交史 現代アメリカ事情 核問題と安全保障 フィールド・プロジェクトⅠ
兼任	准教授	石田 友梨 (38) <平成28年4月> 博士(地域研究)	宗教学 現代中東事情
兼任	講師	菅野(小野原)美佐子 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	Regional Studies (Asia)
兼任	講師	レイノウ カイザン フランクリン (54) <平成31年4月> Master of Arts (米国)	Regional Studies (America)
兼任	講師	金森 康 (45) <平成29年4月> 修士(経済学)※	NPO・NGO論
兼任	講師	鏡 竜太郎 (41) <平成30年4月> 修士(理学)	ディベート実践 ビジネス交渉

[illegible]

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	石本 東生 (53) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (ギリシャ)	国際観光論
兼任	講師	国宗 浩三 (51) <平成30年4月> 博士(経済学)	東南アジア経済論
兼任	講師	木下 英雄 (51) <平成30年4月> 博士(経済学)	中国経済論
兼任	講師	朴 永兎 (49) <平成28年4月> 博士(学術)	現代社会と健康

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	石本 東生 (54) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (ギリシャ)	国際観光論
兼任	講師	国宗 浩三 (52) <平成30年4月> 博士(経済学)	東南アジア経済論
兼任	講師	木下 英雄 (52) <平成30年4月> 博士(経済学)	中国経済論
兼任	教授	朴 永兎 (50) <平成28年4月> 博士(学術)	現代社会と健康 基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	教授	藤崎 好子 (64) <平成29年4月> 文学修士 学術修士※	
兼任	講師	小西 貴子 (29) <平成30年4月> 修士(言語教育学)	
兼任	講師	矢島 正枝 (67) <平成30年4月> 修士(都市政策)	国際観光論
兼任	准教授	小西 鉄 (37) <平成30年4月> 博士(地域研究)	東南アジア経済論
兼任	講師	木下 英雄 (54) <平成30年4月> 博士(経済学)	中国経済論
兼任	教授	朴 永兎 (52) <平成28年4月> 博士(学術)	現代社会と健康 基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	土田 智佳子 (43) <平成31年4月> Bachelor of Arts (米国)	Exam Prep. II
兼任	講師	三戸 康代 (42) <平成30年4月> 学士(比較文化)	Exam Prep. III
兼任	講師	三戸 康代 (42) <平成30年4月> 学士(比較文化)	Exam Prep. III Exam Prep. IV
兼任	講師	矢島 正枝 (68) <平成30年4月> 修士(都市政策)	国際観光論
兼任	准教授	小西 鉄 (38) <平成30年4月> 博士(地域研究)	東南アジア経済論
兼任	講師	木下 英雄 (55) <平成30年4月> 博士(経済学)	中国経済論
兼任	教授	朴 永兎 (53) <平成28年4月> 博士(学術)	現代社会と健康 基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山下 丈夫 (51) <平成28年4月> 修士(言語文化学)	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B
兼任	講師	岸 優子 (60) <平成28年4月> 文学修士	現代社会と教育
兼任	講師	桑原 武志 (62) <平成28年4月> 法学士	考古学 文化人類学 河内学※
兼任	講師	森 征樹 (44) <平成28年4月> Magister Artium (ドイツ)※	日本国憲法
兼任	講師	佐々木 雅一 (68) <平成28年4月> 修士(経営学)	環境論※ 環境と経営
兼任	講師	田嶋 香織 (43) <平成28年4月> Master of Arts in Education (米国)	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語総合演習A 日本語総合演習B 日本語会話 日本語表現
兼任	講師	小南 淳子 (62) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語表現 日本語読解
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山下 丈夫 (52) <平成28年4月> 修士(言語文化学)	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B
兼任	講師	岸 優子 (61) <平成28年4月> 文学修士	現代社会と教育
兼任	講師	桑原 武志 (63) <平成28年4月> 法学士	考古学 文化人類学 河内学※
兼任	講師	森 征樹 (45) <平成28年4月> Magister Artium (ドイツ)※	日本国憲法
兼任	講師	佐々木 雅一 (69) <平成28年4月> 修士(経営学)	環境論※ 環境と経営
兼任	講師	田嶋 香織 (44) <平成28年4月> Master of Arts in Education (米国)	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語総合演習A 日本語総合演習B 日本語会話 日本語表現
兼任	講師	小南 淳子 (63) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語表現 日本語読解
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山下 丈夫 (53) <平成28年4月> 修士(言語文化学)	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B
兼任	講師	岸 優子 (62) <平成28年4月> 文学修士	現代社会と教育
兼任	講師	桑原 武志 (64) <平成28年4月> 法学士	考古学 文化人類学 河内学※
兼任	講師	森 征樹 (46) <平成28年4月> Magister Artium (ドイツ)※	日本国憲法
兼任	講師	川瀬 成吾 (30) <平成29年4月> 博士(農学)	環境論※ 環境フィールドスタ ディⅠ 環境フィールドスタ ディⅡ 環境保全論※
兼任	准教授	塩谷 茂明 (66) <平成29年4月> 博士(工学)	環境と経営
兼任	講師	小南 淳子 (62) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語表現 日本語読解
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山下 丈夫 (54) <平成28年4月> 修士(言語文化学)※	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B
兼任	講師	松井 玲子 (64) <平成30年4月> 博士(文学)	現代社会と教育
兼任	講師	桑原 武志 (65) <平成28年4月> 法学士	考古学 文化人類学 河内学※
兼任	講師	森 征樹 (47) <平成28年4月> Magister Artium (ドイツ)※	日本国憲法
兼任	准教授	川瀬 成吾 (31) <平成29年4月> 博士(農学)	環境論 環境フィールドスタ ディⅠ 環境フィールドスタ ディⅡ 環境保全論 環境と社会
兼任	教授	塩谷 茂明 (67) <平成29年4月> 博士(工学)	環境と経営
兼任	講師	小南 淳子 (63) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語Ⅲ 日本語表現 日本語読解
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山下 丈夫 (55) <平成28年4月> 修士(言語文化学)※	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B
兼任	講師	松井 玲子 (65) <平成30年4月> 博士(文学)	現代社会と教育
兼任	講師	桑原 武志 (66) <平成28年4月> 法学士	考古学 文化人類学 河内学※
兼任	講師	森 征樹 (48) <平成28年4月> Magister Artium (ドイツ)※	日本国憲法
兼任	准教授	川瀬 成吾 (32) <平成29年4月> 博士(農学)	環境論 環境フィールドスタ ディⅠ 環境フィールドスタ ディⅡ 環境保全論 環境と社会
兼任	教授	塩谷 茂明 (68) <平成29年4月> 博士(工学)	環境と経営
兼任	講師	小南 淳子 (64) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語表現 日本語読解

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
					兼任	准教授	川瀬 成吾 (31) <平成29年4月> 博士(農学)	川瀬 成吾 (32) <平成29年4月> 博士(農学)	川瀬 成吾 (32) <平成29年4月> 博士(農学)
							環境保全論	環境保全論	環境保全論
兼任	講師	仲島 淳子 (44) <平成28年4月> 修士(外国語教育学)	仲島 淳子 (45) <平成28年4月> 修士(外国語教育学)	仲島 淳子 (46) <平成28年4月> 修士(外国語教育学)	兼任	講師	仲島 淳子 (47) <平成28年4月> 修士(外国語教育学) ※	仲島 淳子 (48) <平成28年4月> 修士(外国語教育学) ※	仲島 淳子 (48) <平成28年4月> 修士(外国語教育学) ※
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語会話	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語会話 現代日本事情 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ			韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語Ⅶ 日本語Ⅷ	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語Ⅶ 日本語Ⅷ	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語Ⅶ 日本語Ⅷ
					兼任	助教	石田 友梨 (36) <平成28年4月> 博士(地域研究)	石田 友梨 (38) <平成28年4月> 博士(地域研究)	石田 友梨 (38) <平成28年4月> 博士(地域研究)
							現代日本事情	現代日本事情	現代日本事情
					兼任	教授	金 成秀 (63) <平成28年4月> Doctorat (フランス)	金 成秀 (65) <平成28年4月> Doctorat (フランス)	金 成秀 (65) <平成28年4月> Doctorat (フランス)
							韓国語会話	韓国語会話	韓国語会話
					兼任	講師	小南 淳子 (62) <平成29年4月> 修士(文学)	小南 淳子 (63) <平成29年4月> 修士(文学)	小南 淳子 (63) <平成29年4月> 修士(文学)
							日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ
兼任	講師	山田 智貴 (49) <平成29年4月> 博士(工学)	山田 智貴 (50) <平成29年4月> 博士(工学)						
		地球と環境 環境と海洋	地球と環境 環境と海洋						
					兼任	准教授	川瀬 成吾 (30) <平成29年4月> 博士(農学)	川瀬 成吾 (31) <平成29年4月> 博士(農学)	川瀬 成吾 (32) <平成29年4月> 博士(農学)
							地球と環境	地球と環境	地球と環境

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	伊 銀哲 (38) <平成28年4月> 博士(地域政策学) 日本語Ⅱ
兼任	講師	黒田 進 (63) <平成28年4月> 経済学士 生涯スポーツA 生涯スポーツB
兼任	講師	森下 泰行 (66) <平成28年4月> 体育学士 トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	吳 紅敏 (43) <平成28年4月> 博士(経済学) 日本語Ⅱ
兼任	講師	黒田 進 (64) <平成28年4月> 経済学士 生涯スポーツA 生涯スポーツB
兼任	講師	森下 泰行 (67) <平成28年4月> 体育学士 トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	塩谷 茂明 (66) <平成29年4月> 博士(工学) 環境と海洋
兼任	講師	井ノ口 智佳 (32) <平成29年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ
兼任	講師	黒田 進 (65) <平成28年4月> 経済学士 生涯スポーツA 生涯スポーツB
兼任	講師	森下 泰行 (68) <平成28年4月> 体育学士 トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	塩谷 茂明 (67) <平成29年4月> 博士(工学) 環境と海洋
兼任	講師	井ノ口 智佳 (33) <平成29年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	渡邊 瑛子 (55) <平成30年4月> 修士(学校教育学) 日本語Ⅵ
兼任	助教	勝 健真 (36) <平成28年4月> 修士(体育学) 生涯スポーツA 生涯スポーツB
兼任	講師	森下 泰行 (69) <平成28年4月> 体育学士 トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	塩谷 茂明 (68) <平成29年4月> 博士(工学) 環境と海洋
兼任	講師	井ノ口 智佳 (34) <平成29年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語Ⅲ
兼任	助教	伊澤 晴香 (34) <平成31年4月> 博士(日本語・日本文化) 日本語Ⅱ 日本語Ⅴ
兼任	講師	田村 彩香 (30) <平成31年4月> 修士(教育学) 日本語Ⅳ
兼任	講師	小亀 拓也 (26) <平成31年4月> 修士(日本語・日本文化) 日本語Ⅵ
兼任	助教	勝 健真 (37) <平成28年4月> 修士(体育学) 生涯スポーツA 生涯スポーツB

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成28年4月 グリーン スティーブン ブラッドリー教授昇格。平成28年1月教員審査済み。
- 平成28年4月 梶村美紀准教授昇格。平成28年1月教員審査済み。
- 平成28年4月 時間割編成上の理由により、金森明教授(兼任)の一部授業科目を渡邊浩一准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 時間割編成上の理由により、金成秀教授(兼任)の一部授業科目を仲本早紀非専任講師が担当。
- 平成28年4月 時間割編成上の理由により、文本陽雲教授(兼任)の一部授業科目を崔舜星准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 時間割編成上の理由により、杉山裕准教授(兼任)の一部授業科目を井上勝雄教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、呉紅敏准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、姜若冰准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、林英一助教(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、勝健真助教(兼任)が担当。
- 平成28年4月 上野裕非専任講師の辞職により、同非専任講師の一部授業科目を、堀内千加非専任講師が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、岡崎臣博非専任講師、藤木隆義非専任講師、ディヴィス恵美非専任講師、本多善准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、朴永昇教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、仲島淳子非専任講師が担当。
- 平成28年4月 尹錫哲非専任講師の辞職により、同非専任講師の担当科目を呉紅敏准教授(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、石田友梨助教(兼任)が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、山根共行非専任講師が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、高月喜美非専任講師、榎原実香非専任講師が担当。
- 平成28年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、松原真理子非専任講師が担当。

【平成29年度】

- 平成29年4月 本多善准教授就任。平成29年1月教員審査済み。
- 平成29年4月 兼袋佳祐助教就任。平成29年1月教員審査済み。
- 平成29年3月 三井愛子准教授一身上の理由により辞職。
- 平成29年4月 高砂謙二教授昇格。平成29年1月教員審査済み。
- 平成29年4月 三井愛子准教授の辞職により、同准教授の一部授業科目を吉村誠非専任講師が就任。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、田中嗣久教授(兼任)の一部授業科目を櫻井利江教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、多胡圭一教授(兼任)の一部授業科目を森口舞准教授(兼任)が担当。
- 平成29年9月 松下幸史朗講師(兼任)の辞職により、同講師の授業科目を河野公洋非専任講師が担当。
- 平成29年4月 中川康弘准教授(兼任)の辞職により、同准教授の授業科目を、本多善准教授、樋口くみこ准教授(兼任)、箕川恵理子教授(兼任)、姜若冰准教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 高垣英夫准教授(兼任)の辞職により、同准教授の授業科目を朴永昇教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 中澄孝司准教授(兼任)の辞職により、同准教授の授業科目を勝健真助教(兼任)が担当。
- 平成29年4月 教育の充実を図るために、科目を新規開設し、丸島歩准教授(兼任)、藤井瑠美非専任講師、伊澤明香非専任講師、尹意彦非専任講師、小南淳子非専任講師、真下京子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、倉屋恵非専任講師、久保祐美子非専任講師、福田和義非専任講師、廣瀬順子非専任講師、アレクサンダースコット非専任講師が担当。
- 平成29年4月 文本陽雲教授(兼任)の休職により、同教授の授業科目を森浩平非専任講師、光山寛非専任講師、崔舜星准教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 フィリップ・フライング准教授(兼任)の辞職により、同准教授の授業科目をシゲシ ミハユ ラミヲ非専任講師、オーリック・オコン非専任講師が担当。
- 平成29年4月 佐々木雅一非専任講師の辞職により、林英一助教(兼任)の一部授業科目を野口勝三非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、西口善規准教授(兼任)の授業科目を佐藤一生非専任講師が担当。
- 平成29年4月 東千代子非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を藤崎好子教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、乾順子准教授(兼任)の一部授業科目を樋口くみこ准教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 堀内泰紀非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、吉田廣非専任講師、石田友梨助教(兼任)が担当。
- 平成29年4月 上野裕非専任講師の辞職により、同非専任講師の一部授業科目を中川正秋非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、加藤靖弘非専任講師の一部授業科目を岡崎臣博非専任講師、藤木隆義非専任講師が担当。
- 平成29年4月 デイヴィス恵美非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を石田雅子非専任講師、神田真喜子教授(兼任)、アスティルダグラスジェームス非専任講師が担当。
- 平成29年4月 ヒエラルドコルナトスキ非専任講師の辞職により、同非専任講師の一部授業科目を網島洋之非専任講師、ヨハネスキーナー非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、笠田真由美非専任講師の一部授業科目を中川正秋非専任講師が担当。
- 平成29年4月 佐々木雅一非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、川瀬成吾准教授(兼任)、塩谷茂明教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 田嶋香織非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、小南淳子非専任講師、高月喜美非専任講師、仲島淳子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、仲島淳子非専任講師の一部授業科目を石田友梨助教(兼任)、金成秀教授(兼任)、小南淳子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 山田智貴非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、川瀬成吾准教授(兼任)、塩谷茂明教授(兼任)が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、呉紅敏教授(兼任)の一部授業科目を井ノ口智佳非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、本多善准教授の一部授業科目を正田久美非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、石田友梨助教(兼任)の一部授業科目を高月喜美非専任講師、丸島歩准教授(兼任)、小南淳子非専任講師、仲島淳子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、高月喜美非専任講師の一部授業科目を小南淳子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 時間割編成上の理由により、榎原実香非専任講師の一部授業科目を小南淳子非専任講師が担当。
- 平成29年4月 教育の充実を図るために、科目を新規開設し、同科目を村田恵三非専任講師が担当。

【平成30年度】

- 平成30年4月 望月直人准教授就任。平成30年1月教員審査済み。
- 平成30年3月 華立教授一身上の理由により辞職。
- 平成30年4月 華立教授の辞職により、同教授の担当科目を望月准教授、姜若冰准教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 吳志賢教授が改姓。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、鈴木聡准教授(兼任)の授業科目を、山本和教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 菅原給美准教授育児休暇。出産後、平成30年度末まで育児休業取得予定。
- 平成30年4月 菅原准教授の平成30年度中の育児休暇、育児休業により、同准教授の一部授業科目を、望月直人准教授、安藤由香里非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、仲島淳子非専任講師の一部授業科目を、仲本早紀非専任講師が担当。
- 平成30年4月 吉村誠非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を宗田勝也非専任講師が担当。
- 平成30年4月 ミルズ・ジョナサン・チャールズ准教授昇格。平成30年1月教員審査済み。
- 平成30年4月 長沼進一教授(兼任)の辞職により、同教授の授業科目を、辻本政雄准教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 教育の充実を図るために、真下恭子非専任講師の一部授業科目を、仲本早紀非専任講師、伊澤明香非専任講師が担当。
- 平成30年4月 文本陽雲教授(兼任)の復職により、森浩平非専任講師の一部授業科目を、同教授が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、高橋慎二教授(兼任)の一部授業科目を、平岩英治准教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 辞職した中嶋美樹子准教授(兼任)担当予定科目(平成30年度開講)を、長地孝夫非専任講師が担当。
- 平成30年4月 井上勝雄教授(兼任)の辞職により、同教授の授業科目を山田真浩教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、山根陽一准教授(兼任)の授業科目を、加納慶太准教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 箕川恵理子教授(兼任)の辞職により、同教授の授業科目を、丸島歩准教授(兼任)、仲島淳子非専任講師、井ノ口智佳非専任講師、久保田育美非専任講師、高月喜美非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、姜若冰准教授(兼任)の一部授業科目を、井ノ口智佳非専任講師が担当。
- 平成30年4月 教育の充実を図るために、仲島淳子非専任講師の一部授業科目を、伊澤明香非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、藤村佳子准教授(兼任)の一部授業科目を、浅井希和子非専任講師が担当。
- 平成30年4月 樋口くみこ准教授(兼任)の後期からの育児休暇及び育児休業により、同准教授の一部授業科目を、西徳宏非専任講師が担当。
- 平成30年4月 梶川伸非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、森繁徹教授(兼任)及び山根共行非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、池田良輝非専任講師の一部授業科目を、森繁徹教授(兼任)及び金成秀教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 田原護立非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、服部良子非専任講師及び宗田勝也非専任講師が担当。
- 平成30年4月 上野裕非専任講師の辞職により、同非専任講師の一部授業科目を、荒木俊之非専任講師が担当。
- 平成30年4月 杉林弘仁非専任講師の辞職により、同非専任講師の一部授業科目を、岡田裕幸非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、岡崎臣博非専任講師の一部授業科目を宗和美江非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、加藤靖弘非専任講師の一部授業科目を藤崎好子教授(兼任)が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、藤木隆義非専任講師の一部授業科目を小西貴子非専任講師が担当。
- 平成30年4月 時間割編成上の理由により、藤崎好子教授(兼任)の一部授業科目を小西貴子非専任講師が担当。
- 平成30年4月 グレン・マイケル・ブラウン非専任講師の辞職により、同非専任講師の授業科目を、高橋麻奈非専任講師及びハモンズ・ジョアンナ非専任講師が担当。

・平成30年4月	ヒュラルド・コルナトウスキ非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を田代和也非専任講師が担当。
・平成30年4月	李良子非専任講師の退職により、同非専任講師の一部授業科目を武藤麻美准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、太田結花非専任講師の一部授業科目を、中川正明非専任講師が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、大島淑恵非専任講師の一部授業科目を、三戸康代非専任講師が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、中川正明非専任講師の一部授業科目を、石井里奈非専任講師が担当。
・平成30年4月	菅瀬晶子非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、石田友梨准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	鈴木真弥非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、菅野(小野原)美佐子非専任講師が担当。
・平成30年4月	明戸隆造非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、森口寛准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	鎌倉太郎非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、廣本寿夫非専任講師が担当。
・平成30年4月	神田真喜子教授(兼任)の退職により、同教授の授業科目を、吉川真理子准教授(兼任)及び横山香奈准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	デイヴィス恵美非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、浅井希子非専任講師(兼任)が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、アスティール・ダグラス・ジェームス非専任講師の一部授業科目を、オーリック・オコン非専任講師、藤崎好子教授(兼任)及び小西貴子非専任講師が担当。
・平成30年4月	石本東生非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、矢島正枝非専任講師が担当。
・平成30年4月	国宗浩三非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、小西鉄准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	岸優子非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、松井玲子非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、「環境と社会」授業科目担当者を追加し、川瀬成吾准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、小南淳子非専任講師の一部授業科目を、伊澤晴香非専任講師、藤井理美非専任講師及び高月喜美非専任講師が担当。
・平成30年4月	養父志乃夫非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、川瀬成吾准教授(兼任)が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、仲島淳子非専任講師の一部授業科目を、小南淳子非専任講師及び高月喜美非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、井ノ口智佳非専任講師の一部授業科目を、渡邊瑛子非専任講師が担当。
・平成30年4月	黒田進非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、勝健真助教(兼任)が担当。
・平成30年4月	竹内俊隆非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、和田英男非専任講師及び川口智恵非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、高月喜美非専任講師の一部授業科目を、井ノ口智佳非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、丸島歩准教授(兼任)の一部授業科目を、藤井理美非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、小南淳子非専任講師の一部授業科目を、藤井理美非専任講師及び渡邊瑛子非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、松原万里子非専任講師の一部授業科目を、三戸康代非専任講師及び田村科学非専任講師が担当。
・平成30年4月	科目を新設し、三戸康代非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、藤井理美非専任講師の一部授業科目を、久保田育美非専任講師及び真下恭子非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、伊澤晴香非専任講師の一部授業科目を、久保田育美非専任講師及び藤井理美非専任講師が担当。
・平成30年4月	福田和義非専任講師の退職により、同非専任講師の授業科目を、柴田広志非専任講師が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、廣瀬順子非専任講師の一部授業科目を、柴田広志非専任講師が担当。
・平成30年4月	時間割編成上の理由により、アレクサンダー・スコット非専任講師の授業科目を、オーリック・オコン非専任講師が担当。
・平成30年4月	教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、本多真非専任講師が担当。

【令和元年度】

・平成31年4月	海外引率予定の調整の結果、「フィールド・プロジェクトⅠ」の科目担当者を佐 羅教授から菅原准教授に変更。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、山本教授(兼任)の一部担当科目を鈴木聡准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、ウェザビ マーティン准教授の一部授業科目を菅原准教授が担当。
・平成31年4月	菅原准教授の育児休業からの復職により、安藤非専任講師が臨時で育児休業期間中担当していた授業科目を設置計画における担当者である菅原准教授が担当。
・平成31年4月	海外引率予定の調整の結果、「フィールド・プロジェクトⅡ」科目担当者を望月准教授、赤城准教授、梶村准教授、本多准教授、葉袋助教から佐教授に変更。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、赤城准教授担当の一部授業科目を丸島准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	教育の充実を図るために、「総合演習Ⅱ」「総合演習Ⅲ」の科目担当者を追加
・平成31年4月	田中慎吾准教授が教養部に就任。兼任として、「文章表現入門」、「フィールド・プロジェクトⅠ」を追加担当。
・平成31年4月	伊澤准教授が教養部に就任。兼任として、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅳ」、「日本語Ⅴ」、「日本語総合演習Ⅱ」、「日本語総合演習Ⅲ」の授業科目を担当。
・平成31年4月	一身上の理由により辞職した森口准教授(兼任)の授業科目を田中慎吾准教授(兼任)、レインボウ カイザン フランクリン非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、仲本非専任講師の一部授業科目を新規採用した伊澤助教(兼任)、藤井非専任講師、田村非専任講師、尹非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、仲島非専任講師の一部授業科目を仲本非専任講師、丸島准教授(兼任)、伊澤助教(兼任)が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、伊澤非専任講師の一部授業科目を高月非専任講師が担当。
・平成31年4月	光山非専任講師の退職により、同講師の授業科目を松本非専任講師、武井非専任講師が担当。
・平成31年4月	河野非専任講師の退職により、同講師の授業科目を二替非専任講師、平岩准教授(兼任)、八井田教授(兼任)、小野木准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、平岩准教授(兼任)の一部授業科目を荒木教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	長地非専任講師の退職により、同講師の授業科目を三宅非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、引地教授(兼任)の一部授業科目を本岡非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、加納助教(兼任)の一部授業科目を谷村非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、吉川准教授(兼任)の一部授業科目を東森教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、久保田非専任講師の一部授業科目を内田非専任講師、橋本非専任講師、真下非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、高月非専任講師の一部授業科目を小亀非専任講師、内田非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、井ノ口非専任講師の一部授業科目を小亀非専任講師、伊澤助教(兼任)、田村非専任講師、渡邊非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、勝助教(兼任)の一部授業科目を若林非専任講師、村上非専任講師が担当。
・平成31年4月	フリップ フラヴィン非専任講師の退職により、同講師の授業科目を宮崎寛非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、オーリック オコン非専任講師の一部授業科目をクリストファー ルーデンクロー非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、藤村准教授(兼任)の一部授業科目を田中智幸非専任講師が担当。
・平成31年4月	教育の充実を図るために、「日本の農業」、「世界の農業」科目を新設し、野口非専任講師が担当。
・平成31年4月	樋口准教授の育児休業からの復職により、西非専任講師が臨時で育児休業期間中担当していた授業科目を、樋口准教授が担当。
・平成31年4月	服部非専任講師を経営学部専任教授として採用。
・平成31年4月	佐藤非専任講師の退職により、同講師の授業科目を村上非専任講師が担当。
・平成31年4月	岡田非専任講師の退職により、同講師の授業科目を二替非専任講師が担当。
・平成31年4月	崎山非専任講師の退職により、同講師の授業科目を泉谷非専任講師が担当。
・平成31年4月	加藤非専任講師の退職により、同講師の授業科目を島田非専任講師が担当。
・平成31年4月	山根共行非専任講師の退職により、同講師の授業科目を谷川非専任講師が担当。
・平成31年4月	小西非専任講師の退職により、同講師の授業科目を伊藤非専任講師、近藤非専任講師、三戸非専任講師が担当。
・平成31年4月	ヨハネス キーナー非専任講師の退職により、同講師の授業科目を網島非専任講師が担当。
・平成31年4月	笹井准教授(兼任)が、下山に改姓。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、大島由美子非専任講師の一部授業科目を下山准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	教育の充実を図るために、新たに「国際政治学Ⅰ」「国際政治学Ⅱ」「アメリカ外交史」「核問題と安全保障」科目を新設し、田中慎吾准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	アスティール・ダグラス・ジェームス非専任講師の退職により、同講師の授業科目をヒエタラヒティ エレキ非専任講師、クリストファー ルーデンクロー非専任講師、アレクサンダー スコット非専任講師、レインボウ カイザン フランクリン非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、オーリック オコン非専任講師の一部授業科目をハモンズ ジョアンナ非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、藤崎教授(兼任)の一部授業科目を土田非専任講師、三戸非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、小南非専任講師の一部授業科目を井ノ口非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、藤井非専任講師の一部授業科目を丸島准教授(兼任)、小亀非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、渡邊非専任講師の一部授業科目を小亀非専任講師、丸島准教授(兼任)が担当。
・平成31年4月	森下非専任講師の退職により、同講師の授業科目を松本非専任講師、若林非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、正田非専任講師の一部授業科目を柴田非専任講師、三戸非専任講師が担当。
・平成31年4月	時間割編成上の理由により、丸島准教授(兼任)の一部授業科目を伊澤助教(兼任)、真下非専任講師が担当。
・平成31年4月	松原非専任講師の退職により、同講師の授業科目を柴田非専任講師が担当。
・平成31年4月	田村科学非専任講師の退職により、同講師の授業科目を土田非専任講師、齊藤裕己非専任講師が担当。
・平成31年4月	以倉非専任講師の退職により、同講師の授業科目を福田非専任講師、田村非専任講師が担当。
・平成31年4月	教育の充実を図るために、科目の開講クラス数を増加させ、齊藤裕己非専任講師、本多真非専任講師、田中浩非専任講師、宮崎寛非専任講師、ヒエタラヒティ エレキ非専任講師、ウォレン ストロング非専任講師、リクター スティブン非専任講師、柴田非専任講師、和氣非専任講師、田中智幸非専任講師が担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
8	6	0	2	16	9	7	0	1	17
(9)	(6)	(0)	(1)	(16)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
9	7	0	1	17	9	7	0	1	17
[1]	[1]	[0]	[Δ1]	[1]	[1]	[1]	[0]	[Δ1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
専任教員 66歳 専任准教授・講 師・助教 65歳 特別専任教員 70 歳	2	2
歳	[Δ1] 名	[Δ1] 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入

し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{16} = 106.25 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{17} = 11.76 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・科目の数	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・科目の数	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	三井 愛子	H29.3	選択	メディアリテラシー	②	H29.3.31付け 一身上の理由で辞職 (29)						
				選択	メディア論	②							
				必修	基礎演習A	①							
				必修	基礎演習B	①							
				選択	専門演習ⅠA	①							
				選択	専門演習ⅠB	①							
				選択	専門演習ⅡA	①							
				選択	専門演習ⅡB	①							
				選択	専門演習ⅢA	①							
2	教授	華 立	H30.3	選択	専門演習ⅢB	①	H30.3.31付け 健康上の理由で辞職 (30)						
				選択	世界史概論Ⅰ※	①							
				選択	世界史概論Ⅱ※	①							
				選択	アジア史	①							
				選択	比較文化論※	②							
				選択	専門演習ⅡA	①							
				選択	専門演習ⅡB	①							
				選択	専門演習ⅢA	①							
				選択	専門演習ⅢB	①							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	13	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	15	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	13 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	15 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{16} = 12.5 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
—	—	—	—	—	—	—			
			—	—	—				
			—	—	—				
—	—	—	—	—	—	—			
			—	—	—				
			—	—	—				
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成29年度末で退職した専任教員の退職理由は健康上の理由によるものであった。退職した専任教員が担当していた科目については、AC教員審査を受け、1科目を除いて、新規採用した専任教員が担当することとなった。残りの1科目(講義科目)については、同講義科目と関連した十分な教育研究業績を有する兼担教員を充てることにした。以上により、専任教員交代による学生の履修等への特段の影響はなかった。 専任教員の交代については、平成30年度履修ガイダンス時に学生へ周知を行った。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成27年)	「留学・体験科目」について、本科目を通じて本学部で学生が習得すべき能力として挙げられている「国際協働力」を習得するために、下記のことについて十分に留意し、計画を着実に実施すること。 (1) 「留学・体験科目」を通して異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むために、事前に現地語の学修を十分に行わせること。 (2) 海外で学修を行うに当たり学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、学生の安全面への配慮や現地でのサポート体制を充実させるとともに、内容を学生に広く周知すること。	留意事項 (1) 「留学・体験科目」の実施にあたっては、渡航前に、派遣国の現地で通用している言葉、社会事情と風習などに関する事前学修を行い、異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むための準備を行う。 (2) 海外での学修について学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、事前学修及びオリエンテーションを実施する。また、海外協定校等の担当者と緊密に連携をとり学生の安全に配慮する。事前学修とオリエンテーションでは、海外でのサポート体制について周知し、安全確保と緊急時対応のための研修を行う。さらに、海外での学修及び生活に必要な注意事項等をまとめたハンドブックを参加者全員に配布し、その内容を広く周知する。 (平成28年度)	履行済
認 可 時 (平成27年)	キャリア形成科目群の中で科目名称に「国際」を冠する6科目について、教育内容として「異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）の理解」を掲げるのであれば、現地語についての理解も必要と考えられるので、現地語について触れる内容となっているか検証し、必要に応じて修正すること。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し異文化について興味を持った学生が、本科目群により発展的に異文化理解の学修を進められるよう内容を検討すること。	留意事項 キャリア形成科目群の中で、科目名称に「国際」を冠する6科目については、異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）を理解するため、グローバルな舞台で活躍する実務家による講演などを行い、各国・地域の文化や慣習、現地語について触れる内容となっている。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し、異文化に興味を持った学生が、より発展的に学修を進めることができるよう2年次以降の内容をさらに検討する。（平成28年度）	履行済

設置計画履行状況 調査時 (平成29年)	経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること	改善意見	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員1名が平成28年度末で退職した。そして、経済学部経営学科における教育研究水準の維持向上を図り、教育研究の継続性を確保できるよう、平成29年4月1日付で、経済学部経営学科に定年規程に定める退職年齢未満の専任教員2名を採用した。 設置届出書に基づき、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は、完成年度である平成29年度末をもって5名退職する。また、今後、経済学部経営学科においては、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、平成30年度に専任教員2～3名を採用することを予定している。現在、経営戦略論又は生産管理論、マーケティング論等を担当できる教員を採用すべく公募を行っているところである。 採用に当たっては、年齢構成のバランスに留意し、若手の准教授又は助教を含めて採用することを検討している。さらに、教授陣容の充実に向け、現在准教授の専任教員が教授へ昇格できるよう、教育研究能力の育成に努めていく。 以上の教員採用及び昇格によって、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、平成30年度に、15%程度へと改善することを見込んでいる。以降も教員年齢構成の適正化を図るべく、引き続き改善に努力する。	履行済
---	---	-------------	---	------------

設置計画履行状況 調査時 (平成29年)	経済学研究科経済学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員1名が平成28年度末で退職した。そして、経済学研究科経済学専攻における教育研究水準の維持向上を図り、教育研究の継続性を確保できるよう、完成年度以降の教員組織編成の将来構想の策定、教員採用についての検討を進めてきた。 設置認可申請書に基づき、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は、平成29年度末に2人、平成30年度末に2人退職する。また、今後、大学院経済学研究科経済学専攻においては、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、平成30年度から平成31年度にかけて、専任教員1~2名を採用することを予定している。また、内部異動によって、大学院経済学研究科経済学専攻に専任教員を配置することも検討している。十分な教育研究上の実績と経験を有し、研究指導を担当できる教員を大学院経済学研究科経済学専攻に採用・配置する。 採用・配置に当たっては、年齢構成のバランスに留意し行うことを検討している。 以上の教員採用及び配置によって、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、平成30年度に35%程度、平成31年度に20%程度へと改善することを見込んでいる。以降も教員年齢構成の適正化を図るべく、引き続き改善に努力する。	履行済
---	--	-------------	--	------------

設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	経済学研究科経営学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	大学院経済学研究科経営学専攻における教育研究水準の維持向上を図り、教育研究の継続性を確保できるよう、平成30年4月1日付で、定年規程に定める退職年齢未満である30代の准教授(経済学部経済学科所属)を、大学院経済学研究科経営学専攻専任の研究指導補助教員として、「コーポレートファイナンス特論」を担当させることとした。 また、「特別専任教員に関する規程」を平成29年5月29日理事会において改正し、規程上定められていなかった、特別専任教員の再任の上限を、「満70歳に達した日の学年度末日」と定め、平成29年10月1日より施行している。 これにより、平成30年5月1日時点で、大学院経済学研究科経営学専攻における、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、昨年度の22.22%から11.11%へと改善することとなった。 今後とも、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育の質保証を図るため、教員組織編制の将来構想について、引き続き検討を進めていく。	履行済	
---	---	-------------	--	------------	--

設置計画履行状況			定年規程に定める退職年齢を超える専任教員2名が平成29年度末で退職した。大学院経済学研究科経済学専攻における教育研究水準の維持向上を図り、教育研究の継続性を確保できるよう、完成年度以降の教員組織編制の将来構想の策定、教員採用についての検討を引き続き進めている。 また、「特別専任教員に関する規程」を平成29年5月29日理事会において改正し、規程上定められていなかった、特別専任教員の再任の上限を、「満70歳に達した日の学年度末日」と定め、平成29年10月1日より施行している。 これにより、平成30年5月1日時点で、大学院経済学研究科経済学専攻における、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、昨年度の46.15%から18.18%へと改善することとなった。 今後とも、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育の質保証を図るため、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行していく。	履行済	
調査時 (平成30年)	経済学研究科経済学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見			
設置計画履行状況			定年規程に定める退職年齢を超える専任教員5名が経営学科の完成年度である平成29年度末で退職した。そして、経済学部経営学科における教育研究水準の維持向上を図り、教育研究の継続性を確保できるよう、平成30年4月1日付で、経済学部経営学科に定年規程に定める退職年齢未満の専任教員4名を採用した。 また、「特別専任教員に関する規程」を平成29年5月29日理事会において改正し、規程上定められていなかった、特別専任教員の再任の上限を、「満70歳に達した日の学年度末日」と定め、平成29年10月1日より施行している。 これにより、平成30年5月1日時点で、経済学部経営学科における、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、昨年度の37.50%から7.1%へと改善することとなった。 今後とも、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育の質保証を図るため、教員組織編制の将来構想について、引き続き検討を進めていく。	履行済	
調査時 (平成30年)	経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見			

設置計画履行状況 調査時 (平成31年)	該当なし			
----------------------------	------	--	--	--

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するため、国際学部教授会のもとに国際学部FD委員会を置き、教員の資質の維持向上のためのFD活動を実施している。

〔設置委員会〕

国際学部FD委員会

〔関係規程〕

国際学部教授会規程

〔略〕

第2条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、再入学及び卒業

(2) 学位の授与

(3) 教育課程編成に関する事項

(4) 学生の転学部、転学科、他大学への入学又は転学、休学、退学、復学及び留学に関する事項

(5) 学生の懲戒処分に関する事項

(6) 教員資格審査に関する事項

(7) ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）に関する事項

(8) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして、学長が定めるもの

2 〔略〕

第2条の2 教授会は、前条第1項第7号の活動を推進するため、FDに関する委員会を置く。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔国際学部FD委員会〕

国際学部FD委員会は、平成28年度に17回、平成29年度に20回、平成30年度に15回開催した。平成31(令和元)年度は、4月5日に第1回委員会、4月24日に第2回委員会を開催し、以降月に1回程度の開催を予定している。

○国際学部FD委員会の構成員

国際学部長兼国際学部FD委員会委員長、国際学部長補佐ほか、専任教員12人で構成。

c 委員会の審議事項等

1) 教育活動の企画・開発に関すること

2) 教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること

3) 学科目担当者に関すること

4) キャリア教育、就職支援に関すること

S Dについては、事務局長の下で庶務課が研修計画案を作成し、その内容を、学長及び各学部長・教養部長に報告し、全学的に研修を実施している。

② 実施状況

a 実施内容

- (1)教員相互の授業参観
- (2)FD研修会
- (3)カリキュラム改善・開発及び授業改善のための研究・審議

b 実施方法

(1)教員相互の授業参観(国際学部専任教員17人対象)

- 春学期:平成30年5月14日(月)～6月1日(金)、7人実施
- 秋学期:平成30年11月1日(木)～11月30日(金)、6人実施

なお、平成31(令和元)年の春学期は5月中旬から7月に実施することを予定しており、対象教員は春学期・秋学期のいずれかで必ず参観することの方針化している。

(2)FD研修会(全学部対象)

- 最新の就活事情とキャリア支援の在り方に係るFD研修会:平成31年4月2日(水)
 - ・内容:最新の就活事情、企業の求める人材像・評価基準、就活がうまく進まない学生の類型、教職員ができる有効かつ適切な支援とは、等
 - ・参加者:専任教員80名(対象96名中)
- 新任教員研修会:平成31年3月8日(金)
 - ・内容:平成31年度新規採用の専任教員に対して、本学の教育課程の特徴、FD活動の目的や取組み状況等について研修。
 - ・参加者:新任教員7名

(3)カリキュラム改善・開発及び授業改善のための研究・審議

1)シラバスの相互チェック

- ・国際学部教員による授業科目シラバスの相互チェック及び改善作業(平成31年2月～3月)

2)国際学部FD委員会での審議(年間を通じて)

a)教育活動の企画・開発に関すること

- ・4年間の教育課程に関する検討
- ・国際学部学生研究発表大会の企画と実践、総括の実施
- ・多文化に配慮した教育の実施についての検討

b)教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること

- ・「演習報告書」の作成・共有の実施
- ・定期的な学生別状況の共有と指導
- ・英語運用能力向上のための教育方法に関する検討

c)教育課程の編成・学科目担当者に関すること

- ・演習募集方法等についての調整
- ・教育課程の編成・授業科目担当者等についての調整
- ・コース制・履修ガイダンスの計画・実施

d)キャリア教育、就職支援に関すること

- ・国際学部のキャリア支援のあり方について検討
- ・国際学部特別プログラムについての検討
- ・学部推奨資格の検討

c 開催状況(教員の参加状況含む)

(再掲) 国際学部FD委員会は、平成28年度に17回、平成29年度に20回、平成30年度に15回開催した。
平成31(令和元)年度は、4月5日に第1回委員会、4月24日に第2回委員会を開催し、以降月に1回程度の開催を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

国際学部教授会及び国際学部FD委員会のもと、教育の質的向上や教育活動支援のための取組を年間計画のもと実施した。授業評価アンケート結果から学生の授業満足度は高い水準を維持できており、シラバスの内容についても改善・充実されるなどの成果が見られた。

今後も、教育の質的向上のための授業改善等についての組織的取組を継続して実施する。

SDについては、①大学事務局各部門における研修として、大学事業計画に掲げる課題遂行に求められる課題を設定し、その解決方法を具体的に提案するSDの他、大学運営の一層の高度化を図るに当たって求められる専門性の育成や知識・技能の向上に向けた研修を行っている。

このような研修に加えて、②各部門横断型の研修として、教員の校務遂行における資質を向上させるために以下のような研修を実施している。

1) 大学事業計画説明会(令和元年度は全教員対象研修会が4月2日、全職員対象研修会が4月3日)

大学事業計画の遂行のため、計画を立て進捗状況を確認し、評価・総括の上、計画の修正を行い再度実行していく始発点として、当該年度の大学事業計画に係る説明会を開催している

2) 就活実践キャンプ教職員研修(平成31年1月23日、2月15日)

就活を目前に控えた3年生を対象に、これからの就職活動に向けて、基本的な準備やマナーを学ぶと共に、実際に面接やグループディスカッションを体験し、就職活動に向けた意識の喚起、就業力の向上を目的として2泊3日で開催する就活実践キャンプに向け、必要となる技量の向上を目的に研修を開催している。

3) オープンキャンパス担当教員説明会(平成31年4月24日)

全学的校務として実施するオープンキャンパスの主要な企画として実施する「模擬講義」を担当する教員に対して、通常の講義より短い時間で、1回きりで、対象が主に高校生になる「模擬講義」の質を保障するために必要な技量の向上に向けた研修を実施している。

4) 海外引率担当教員研修会(平成30年7月18日、平成31年2月6日)

海外語学研修、海外フィールドスタディ、海外フィールドプロジェクトなど正課内外で実施する学生の海外派遣業務を担当する教員に対して、各海外学生派遣業務の目的を確認し、その成果に向け必要となる安全な実施のために、必要となる危機管理研修を実施している。

③ 学生に対する授業・学修評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

○春学期:平成30年7月9日(月)～7月13日(金)(予備として7月16日(月)～7月20日(金))
国際学部専門教育科目61科目を対象に実施。

○秋学期:平成31年1月7日(月)～1月18日(金)
国際学部専門教育科目108科目を対象に実施。

2) 授業改善報告書

授業担当教員は、授業・学修評価アンケートの結果を踏まえ、自身の授業に関する省察と改善内容を検討し、「授業改善報告書」を作成。今後の授業改善に取り組んでいる。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケート結果を集計し、授業担当教員に報告。
授業担当教員は、アンケート結果を踏まえ、自身の授業に関する省察と改善内容を検討し、「授業改善報告書」を作成。今後の授業改善に取り組んでいる。
- ・全授業のアンケート結果を記載した報告書を作成し、学長、学部長等に報告。
学部のFD実施の参考資料として活用している。
- ・アンケート結果及びそれに対する教員のコメントを学生ポータルサイトに掲載し、学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学国際学部国際学科は、異文化理解と多文化共生を育み、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション能力を身に付けるとともに、幅広い教養と専門性を備え、チームワークとリーダーシップをもって、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材の養成を目指し、当初の設置計画どおり、1～4年次に履修する設置科目を開講し教育研究活動を実施している。

令和元年度入学生については、授業開始に先立ち、全新生を対象に、入学前スクーリング（平成30年12月、平成31年3月に実施）、新入生集中セミナー（平成31年4月）を開催した。新入生セミナーでは、1年次演習（「基礎演習」）担当教員（アドバイザー）、クラス担当職員（キャンパスアドバイザー）、クラス担当上級生（スチューデントアシスタント）とともに、クラスミーティングを行い、春学期の学修計画を立てるため、履修指導を行った。この履修指導を踏まえて、① 1年次必修科目である「基礎演習A」、「基礎演習B」及び「留学・体験科目」、② 1年次必修の英語運用能力を向上させる科目である「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」、③ ICT活用能力を身につけるための「情報リテラシー I」、「情報リテラシー II」、④ 学生の生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指した「国際キャリア開発A」、「国際キャリア開発B」等を中心に、全員が履修登録を完了させ学修を開始した。そして、1年次の選択必修である「フィールド・プロジェクト I」または「海外語学研修」については、安全管理・引率体制の構築に十全を期し、全員が事故なくプログラムを終えることができた。

2年次、3年次学生については、春学期・秋学期が開始する前週に履修登録のミーティング日を設け、2年次春学期に選択するコース（国際コミュニケーションコースまたはグローバル・キャリアコース）に基づき、演習担当者が学生に履修指導・確認を行った。この履修指導を踏まえて、① 2年次必修の英語運用能力のさらなる向上を目指す科目

「Advanced English W/R I」、「Advanced English W/R II」、「Advanced English L/S I」、「Advanced English L/S II」、② 専門分野の学びから自身の研究テーマを設定していく「専門演習 I A」、「専門演習 I B」、「専門演習 II A」、「専門演習 II B」、③ 2年次・3年次は学生個人が自身のキャリアプランを描いていけるよう演習形式で行う2年次演習（「国際キャリアデザイン演習A」および「国際キャリアデザイン演習B」）、3年次演習（「国際キャリア演習A」および「国際キャリア演習B」）、④ 中長期留学（英語圏1セメスター留学および交換留学）および「フィールド・プロジェクト II」を当初の設置計画通り、確実に実施してきた。

国際学部設置にあたり計画した図書購入・配架、専用教室及び演習室を計画どおり整備した。加えて、国際学部教員が選書した英語の専門書を購入・配架した。関連する図書資料は、引き続きさらに充実を図っている。

開設4年目となる平成31年度は、2年次のコース選択、2年次、3年次演習選択を予定どおり実施しつつ、専門教育の一層の充実のため一部科目の新規開設を行った。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成28年度版自己点検評価書を平成28年6月に公表した。

b 公表方法

- ・自己点検評価書を刊行し、大学ホームページ上に公開した。

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に、財団法人日本高等教育評価機構において受審し、平成23年3月25日付けで、「財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。続いて、財団法人日本高等教育評価機構による平成28年度大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月7日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。次回の認証評価は、令和5年度までに受審することとし、受審時期は現在検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月頃予定)

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。